

会 議 録

会議の名称		令和2年度（2020年度）第1回つくば市社会教育委員会議		
日 時		令和2年（2020年）8月17日（月）13：30～16：00		
場 所		つくば市役所2階 会議室202		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委 員	上田孝典 和田雅彦 井坂孝 坏文雄 伊藤達也 高田正澄 布浦万代 中山正巳 飯岡宏之 金井恵美 長橋進也 稲葉房子 鈴木もえみ 長塚俊宏 谷村安子		
	事務局	教育局 森田教育長 吉沼局長 中山次長 伊藤生涯学習推進課長 大久保補佐 福田係長 色川係長 渡邊主査（社会教育主事） 風巻主任 柴原中央図書館長 松浦副館長兼視聴覚センター所長 市民部 荒澤文化芸術課長 二宮係長 田山主任 伊藤スポーツ推進課長 飯村係長 竹内主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議 題		(1) 令和元年度事業実績報告 (2) 令和2年度主要事業の概要		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付式 3 挨拶 4 自己紹介 5 議長・副議長選出 6 議事 7 閉会			

様式第1号

1	開会	省略
2	委嘱状交付式	省略
3	挨拶	省略
4	自己紹介	省略
5	議長・副議長選出	省略
6	議事	
	[議長]	
	<p>早速、議事進行に移りたいと思います。最初にお願いがございます。初めて社会教育委員になられた方が、いらっしゃいますので、社会教育委員会議の進め方について御説明いたします。まず、質疑応答に入りまして、発言をされたい方は、挙手をしていただきます。御指名いたしましたら、氏名を言っていただいてから、質問に入ってください。議事録を取る関係がございますので、きちんとお名前が入らないと、どなたの発言か分からなくなるという事がございます。中身が分からないといけませんので、発言をしていただきたいと思います。また、本来ですと、社会教育事業を行う各課の職員が集まるべきですが、会場の都合や3密の関係で、一度に集まる事が難しいという事です。お手元の資料が1と2に分かれていますけれども、資料1の担当課が、生涯学習推進課、中央図書館、文化芸術課、スポーツ振興課の4部門に分かれています。本日は、2番目の中央図書館から7頁から8頁までに関して、質疑応答をいただき、入替えをしないといけませんので、令和元年度実績報告と令和2</p>	

様式第1号

年度主要事業の概要についての一括した御説明があります。この2つを併せて質疑応答をいただきまして、皆様から御審議をいただき、決議をいただきます。次は、入れ替わりまして、文化芸術課、スポーツ振興課と続きます。この3つの部門が終わりましたら、10分間の休憩を取りまして、生涯学習推進課に戻っていただきます。そこでまた、同じような形で、令和元年度事業実績報告と令和2年度主要事業の概要を併せて、皆さん方に御審議をいただきます事で御了解いただきたいのですが、よろしいでしょうか。では、早速、進めさせていただきます。まず、お手元の資料1の中央図書館について御説明願います。

〔中央図書館長〕

資料1の7頁から8頁までの令和元年度事業実績について、御報告させていただきます。まず、左側の事業概要のうち、目的・概要でございます。目的としましては、図書館資料の充実を図るところで、読書や調べ学習等市民の様々な御要望に応えるべく、積極的に生涯学習を支援するとございます。主な事業でございますが、職場体験、小学校4・5・6年生を対象としたジュニア図書館員、また、小・中・義務教育学校等を訪問する学校訪問ブックトーク、大学生のインターンシップ、これはいわゆる図書館実習を受入れるもの、そして、ファーストブック講座、図書リサイクル等とございます。また、大きな2番目としましては、本日、図書館協議会委員も御出席いただいておりますが、図書館協議会、図書館ボランティア活動の運営という事になります。3番目としまして、図書備品。これは、いわゆる図書館資料の充実を図るために、図書資料あるいは視聴覚資料の選定及び購入を行っているところでございま

様式第1号

す。この点につきまして、昨年度の事業実績でございますが、主なものを御説明させていただきます。資料1の各種図書館事業の上から3つ目でございますが、学校訪問、ブックトーク、昨年度4年生と7年生を対象に、市内の小学校が29校、中学校が9校という事で、その前年の平成29年度と同数の受入れをしていただきました。ブックトークとは、あるテーマを決めまして、そのテーマに沿った本を紹介しながら、より良い学習を今後、深めていただきたいというようなアプローチであるとか、図書館に親しんでいただくような、そういった図書館のPRも兼ねて、実施させていただいております。その2つ下、図書リサイクルとございます。これは、直近3年間全く利用がなく、受入れから10年が経過しており、今後も利用の見込みがないという図書をピックアップしています。昨年度ですと、約9,300冊。こちらの本を市民の皆様にもリサイクルという事で、配布いたしました。これまでは、年に1回2月にアルスホールで、3日程度の期間に市民の皆様にも開放して取りに来ていただいたのですが、時期が限られてしまいますと、その時期に御都合が悪い方が来られないという状況もございましたので、昨年度からは、年間を通して、中央図書館エントランスロビーにコーナーを設置いたしまして、随時、対象の本を並べて配布するという事に取り組んでいます。次に、ライブラリーピクニックでございます。これは、昨年度の新規事業になりますが、5月11日と11月2日の2回実施させていただいております。5月に開催した時には、つくばフェスティバルと同日に開催いたしました。中央図書館の外部に屋外展示場があり、そちらに中央図書館の自動車図書館を配置いたしまして、図書の貸出や屋外での読み聞かせ等も実施いたしまして、大変好評を得た企画でございました。11月2日についまし

様式第1号

では、筑波大学附属図書館との共催で筑波大学附属図書館の屋外の駐車スペースをお借りして開催いたしました。これにつきましては、後ほど、筑波大学との連携のところで、もう少し、補足してお話させていただきたいと思います。

3番は、図書館ボランティア活動でございます。159名の方が御登録いただきまして、9つのボランティア分野に分かれて、それぞれの活動をしていただいております。5番は、図書館懇話会という事で、先程、社会教育委員からも触れられておりましたが、昨年度、5回開催しております。実は、一昨年度から昨年度の2年度におきまして、10回御協議をいただきまして、今年の3月に教育長に図書館懇話会として、今後の図書館についての御提言を取りまとめた提言書を御提出いただいたところでございます。6番は、先程、ライブラリーピクニックのところで申上げました筑波大学との連携でございます。昨年9月に「つくば市域図書館連携に関する協定」というものを筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館が結ぶ事ができました。これは、お互いに持っている資源を有効に活用いたしまして、つくば市民の皆様には様々な図書館サービスを御提供できないかというところで、まずは、この名称がつくば市域連携協定と申上げますが、何故、つくば市と筑波大学の連携協定と申上げなかったのかといいますと、つくば市域という事で、つくば市には、市立図書館や大学図書館もあります。そして、市内研究機関でも資料室や図書室等、たくさんのそういった図書資料があるところを今後、市民の皆様には御提供できるような形で進めていけないかというところで、名称をつくば市域図書館連携と称しまして、昨年度、協定を締結しました。その連携の最初のイベントとしまして、11月2日に筑波大学附属図書館の屋外でライブラリーピクニックを開催する事ができたと

様式第1号

いう事でございます。昨年度の目標としましては、学校訪問ブックトーク事業の推進や読書推進事業等々がございます。そして、一番下のところが、これから図書館のあり方についての検討というところがございます。図書館懇話会から御提言いただいた提言書も含めて、つくば市の図書館資源を活用して、さらなるサービスの拡充をしていく取組みを開始しているところがございます。事業の課題としましては、繰返しになってしまいますが、懇話会の提言書について、今後、図書館としてどのようにアプローチ、もしくは、計画等を作る事ができるかというところを考えております。続きまして、8頁のオンライン地域交流センター図書室運営に要する事業でございます。市内に17の地域交流センターがありますが、そのうち谷田部、筑波、小野川、荃崎の4か所の地域交流センターにつきましては、その中にあります図書室と中央図書館がオンライン化しております。いわゆる分館的機能を持った地域交流センター図書室という事で、4室の窓口スタッフを中央図書館で業務委託しておりまして、図書備品の購入も中央図書館が担って運営しているところがございます。昨年度の事業実績といたしましては、4室それぞれ利用が伸びている訳でございますが、特に谷田部交流センター図書室、こちらの利用者の急増があるというところから、非常に忙しい時間帯、曜日がございますので、配置人員を1名増員いたしまして、サービスの向上を図ったところがございます。事業の課題ですが、その地域の特徴を生かしながら、新たな図書資料の受入れ数を増やし、その充実を図っていったところがございます。令和2年度では、図書購入のところ、利用者数等、利用実績に応じた図書購入について、予算の配分を考えるべきではないかという事で、その傾斜配分を工夫してやっているところがございます。

様式第1号

す。ちなみに、4地域交流センター図書室の利用のどれだけ実績として違いがあるかと言いますと、筑波交流センターが4地域交流センターの中で、一番実績として利用者が少ない訳ですが、筑波交流センターを1といたしますと、荃崎交流センターが1.5、小野川交流センターが1.8、谷田部交流センターに至っては2.4という事で、貸出冊数についても、利用に差がついてしまっていますので、谷田部交流センターでは、昨年度、図書室のカウンター人員を1名増員したということが実績としてございます。それでは、令和2年度主要事業の概要について、御説明させていただきます。資料2の7頁をお開きいただければと思います。図書館運営に要する事業でございます。1の各種図書館事業としましては、昨年度と引き続きのところがございます。ただ、2番目のジュニア図書館員につきましては、通常、夏休みの時期に小学校4・5・6年生を対象として、図書館の体験をしていただくという事業でございますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、夏休み期間も短いという事情もございまして、今のところ、通常時期には開催はできておりません。年度内に時期を変えてできるようであれば、様々な工夫をしながらやっていきたいという事で、検討中でございます。今年度も学校訪問やブックトークも例年どおり、実施したいと考えていますが、学校側では、事業の進捗状況等も例年とは違う状況にありますので、御相談しながら、進めていきたいと考えています。次に、インターンシップの受入れでございます。これも、例年どおり、図書館勤務を目指す大学生を対象として、図書館実習を受入れるというところでございますが、今年度は、筑波大学と独協大学のそれぞれ1名の学生が8月26日（水）から実習が始まるという事でございます。また、今年度は、生涯学習推進課で受

様式第1号

入れをする社会教育主事実習プログラムに図書館実習も組んでいただき、初めて社会教育主事を目指す大学生を2日間お預かりする事を予定しています。次に、ファーストブック講座でございます。子育てに興味を持っていただき、幼少期からお子さまに本に親しむという事を進めていきたいという事で、例年、実施しております。先程、報告が漏れましたが、令和元年度につきましては、3月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が増えつつあった時期でございましたので、昨年度は未実施となっております。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染症の防止対策をしっかりと取りながら、ファーストブック講座に限らず、お話会や、読み聞かせ、図書館のイベント等についても実施していきたいと考えております。今年度の目標ですが、学校訪問や図書推進事業、読書推進事業は、例年どおり、実施していく予定でございます。また、これからの図書館のあり方についての検討でございますが、図書館懇話会からの御提言書を基に、また、筑波大学との連携も進めていく中で、例えば、筑波大学の資料をお借りするということも相互の直接的なパイプを作りまして、やり取りができるような配送便の整備等もしながら、お互いにメリットのある施策を進めていきたいと考えております。今年度の事業課題としましては、提言書をいただいたところですが、今後の事業を進めていく上で、参考として推進していきたいというところを課題として挙げております。次に8頁のオンライン地域交流センター図書室運営に要する事業でございます。引き続き、4地域交流センター図書室の整備や、図書室資料整備、業務委託等を進めてまいります。また、4交流センター図書室それぞれの特性を的確に把握いたしまして、資料の配置であるとか、あるいはもっと違った、それぞれのアプローチの仕方

様式第1号

等も工夫していきたいと考えております。先程、報告いたしました利用者数に若干の開きがありますので、そちらに応じた資料購入費の配分、傾斜配分をさせていただいているところでございます。

〔議長〕

ありがとうございました。只今、中央図書館の令和元年度社会教育事業実績は、当初に社会教育委員会議の承認を得て、その後、承認に基づいた予定に対して実施した結果報告でございます。それから、令和2年度は、実績を踏まえながら、反省しつつ新たな事業報告を進めようという概要説明がございました。これから併せて御審議をいただく訳でございますが、御意見あるいは御質問がございましたら、お願いします。発言の場合には、こちらの都合で、実績報告と主要概要を一緒に御説明していただきましたので、資料1又は資料2の何頁とおっしゃっていただきたいと思います。いかがでしょうか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

資料1の7頁でございます。事業実績の3番でございますが、図書館ボランティア活動で、159名が登録なさって、9つのボランティアに分かれて活動なさったという事でございますが、具体的にどのような活動、全部ではなくて結構でございますけれども、どのような活動をなさったのか、教えていただきたいと思います。

〔中央図書館長〕

様式第1号

まずは、項目だけ全て御紹介させていただきたいと思います。1つ目として、お話ボランティアでございます。2つ目として、児童サービスボランティア。3つ目として、修理ボランティア。これは、図書の破損・汚損等の修理をしていただいております。4つ目として、音訳ボランティア。5つ目として、点訳ボランティア。次が、国際化サービス、図書の配架、地域文化、地域資料の9つの分野でございます。一番、定例的に行っていただいているものが、お話ボランティアでございます。こちらは、毎週土曜日午後3時から図書館にありますお話し室というコーナーで読み聞かせをやっていただいております。現在、5団体の登録をいただいております。そのうち、第5土曜日がある週は、筑波大学のボランティアさんも加わっていただいております。筑波大学ストーリーテリングの皆さんが、その日は、お話し会を催していただいております。毎回、定員といたしますか、いわゆる靴を脱いで座っていただくようなところがございますが、非常に、新型コロナウイルス感染症が広がるまでは、溢れんばかりの親子での参加者が入る事もありまして、定例化しております。平成2年のオープン以来、ずっとやっておりますので、それを楽しみに来られる親子連れがたくさんいらっしゃいます。そして、配架とは、返却本を棚に戻す作業ですが、こちらはボランティアさんの御都合のよろしい時に来ていただきまして、図書の返却をしていただいております。これが、土・日明けの火曜日等は、朝も非常に多くの本を片付けなければいけませんので、お手伝いいただいているというところで、非常に助かっています。その他にも、音訳ボランティアさんには、朗読したものをCDに録音していただいておりますが、それぞれの方が研修を受講して、色々なスキルを活かしながら、大変質の高い、朗読

様式第1号

CDを作っていただいております。また、その他の分野につきましても、非常に熱心に御活動いただいているところでございます。

〔社会教育委員〕

御丁寧にありがとうございました。

〔議長〕

他にございますか。

〔社会教育委員〕

お伺いしたい事が、3つございます。まず1つ目は、2019年度の予算額と2020年度の予算額ですと、大きく金額が異なると思うのですが、どの辺りをスリム化されたのかというところをお伺いしたいです。2つ目は、新型コロナウイルス感染症によるステイホームで、私は図書館を訪れる回数がとても増えたのですが、この新型コロナウイルス感染症で図書館を個人的に利用される方が増えたのか減ったのかどうかをお伺いしたいです。3つ目は、先日、中央図書館を訪れた際に、スズメバチの駆除をされていました。図書館は、お子さまから御年配の方まで訪れるので、安心・安全な場所でなくてはいけないので、中央図書館のスズメバチは毎年、どういうところに巣を作っていて、駆除されていたのが気になりますので、教えていただけますでしょうか。

〔中央図書館長〕

様式第1号

1つ目につきましては、図書館を運営する事業です。昨年度と比較しまして、予算額が大きく減っていますが、今年度は、会計年度任用職員制度の導入により、図書館専門員の人件費が、図書館事業から除外されたため減額となっているところでございます。2つ目の新型コロナウイルス感染症に関して、利用が増えたか減ったかというところですが、新型コロナウイルス感染症対策としまして、4月8日から5月11日までを臨時休館としておりました。その後、段階的にサービスを提供していくという事で、今は7月1日からほぼフルサービスで提供させていただいているところですが、入館者数等も統計を取っておりまして、例年に比較いたしまして、ざっくりでございますが、まだ3分の2程度の来館という気がいたします。まだ自粛をされている方も見受けられまして、特に顕著なのが図書館には中庭沿いに閲覧席がございますが、こちらにも密を避けるという事で、2人掛けを1人掛けに変更する等座席数を減らしております。しかしながら、今年の夏休みは、空席の時間帯がございました。皆さん図書館に来て本を借りますが、長時間滞在というのは、御遠慮されている状況が見受けられます。次に、3つ目のスズメバチの件ですが、実は、昨年度も駆除をいたしまして、もしかすると、あそこから来ているかなという場所がありまして、飛んで来る様子を確認しており、アルスの東側（道路の入口）に正面玄関がございまして、入口上部がアーチ状になっているのですが、向かって左側の50cm程の軒下のところです。スズメバチは、風のあまり当たらない、雨もあまり吹き込まない安全なところを選んでいると思うのですが、同じところに今年も作られてしまったので、随時、駆除しているところでございます。

様式第1号

〔議長〕

他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

質問が1つと意見というかお願いが1つあります。質問ですが、学校で生徒に対して、「こんな本が面白いよ」とか、「生徒がこんな本読んでみたいって言っているけど、どんな本があるのかな」という事に対して、的確に答えられる司書さんや先生がいると、ものすごく貸出が増えると思います。つくば市の図書館には、小学生とか中学生、高校生対象じゃなくても、一般の方向けでも、そういった別名「本のソムリエ」と呼ばれるような人がいるのでしょうか。もう1つは、今、中学生や高校生の中でビブリオバトルが流行しています。是非、つくば市内の中学校や高校で、ビブリオバトルをやっていただけると嬉しいというのが意見というか要望です。

〔中央図書館長〕

御質問の1つ目ですが、本のソムリエという事で、現在、中央図書館と4交流センター図書室で、それぞれ司書資格を持った方がおります。図書館司書がおりますので、カウンター等で御質問いただければ、御相談や、本の紹介あるいは調べ物のお手伝い等ができるかと思えます。また、各市内の小学校・中学校・義務教育学校には、学校図書館補助員がいます。その図書館補助員の資質向上のための研修がありますが、そういった時に、中央図書館の司書が講師として出向きまして、一方的な御指導だけではなくて、御意見をいただきなが

ら、高められるところもありますので、そういった研修会の実施又は学校図書館補助員の、これは任意ですが、年間、定期的に学習会、意見交換会や情報交換会も実施しているところがございます。ただ、中等義務教育学校や、県立高校、私立高校への直接的なアプローチがまだできていないというところがございますので、今後、検討させていただければと思います。次に、ビブリオバトルですが、近隣ですと土浦市が実施しています。地区大会や全国大会があると聞いております。我々も関心は持っていますが、今の状況ですと、なかなか取り組めていないのですが、常に関心を持って、情報収集に努めて、前向きに考えていきたいと思っております。

〔議長〕

他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

1つだけ質問させてください。2018年度4月1日から土・日の図書館の開館時間が19時まで延長されたと思いますが、2018年度の実績報告では、土曜日は延長してかなり来館者が増えて、日曜日は、それほど周知できていないので、そんなに増えていないという報告がありました。2019年度はどうだったのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえて、よろしく申し上げます。

〔中央図書館長〕

様式第1号

詳しい数字については、手元には資料がないのですが、2018年度と2019年度を比較いたしましても、土曜日の方が、比較的19時近くまでお客さんが多いという状況は、変わっておりません。日曜日ですと、特にお子様ですと、次の日、学校であったりとか、お勤めの方であれば、次の日、お仕事があったりとか、そういう事もあるのではないかと思うのですが、土曜日・日曜日を比較いたしますと、17時以降のお客様の状況は、やはり日曜日の方が土曜日に比較して少ないというようなところはあります。また、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、この1か月近く休んでしまったというところもございます。全体的に今年度末の状況としましては、だいたい利用者数や貸出冊数、そういったものが減っていくというようなところは、当然、出て来るかなと考えております。

〔社会教育委員〕

2020年度の実績報告は、日曜日はもちろん、土曜日も減るというのは、予想されますけれども、日曜日については、引き続き続けて行くという事でしょうか。費用対効果もあるので、検討していただければと思います。

〔中央図書館長〕

土曜日・日曜日ともに、平日も含めて中央図書館につきましては、午前9時30分から午後7時までの開館という事で、継続してやっていきたいと思っております。

〔議長〕

様式第1号

よろしいですか。他にございますか。

〔社会教育委員〕

先程の社会教育委員のビブリオバトルの件です。私、実は今年、筑波大学のオープンキャンパスができなくなったので、オープンキャンパスの入試説明動画のナレーションを担当しました。今、大学では、ビブリオバトルを入試の面接とか試験の一環にしている大学が増えて来ています。図書館で無理でしたら、つくば市でも何か考えていただけたらと思います。このビブリオバトルですが、子ども達に「こんな本があるよ」とアピールする事もできます。大学入試でも、ビブリオバトルを採用している大学が増えていきます。何か機会があれば、是非、社会教育委員がおっしゃったように、私も推薦したいという意見です。

〔議長〕

御意見という事で、よろしいですか。他にございますか。

〔社会教育委員〕

1つ質問したい事があります。オンライン化されている地域交流センターは、4か所で読み聞かせの本等を選ぶ際に、大変便利に使わせていただいているのですが、他の地域交流センターにも拡大する予定はあるのでしょうか。

〔中央図書館長〕

様式第1号

読み聞かせを他の地域交流センターに拡大しますかという事ですが、現在、中央図書館では、ボランティアさんをお願いしているところでございます。荃崎につきましては、荃崎お話会というサークル団体がございまして、読み聞かせをしていただいています。それ以外の3つの地域交流センターにつきましては、現在、できていないところもございまして、ボランティアさんの御協力をいただくか、中央図書館の職員、各地域交流センターも委託ではございますが、図書館司書がおりますので、うまく組み合わせながら、実施できるように検討させていただければと思います。

〔社会教育委員〕

すみません。質問の内容は、少し違いまして、読み聞かせも興味があるのですが、本を選ぶ際にオンラインシステムを他の図書室でも利用したいのですが、他の図書室でもオンラインシステムを組み込む予定はあるのでしょうか。

〔中央図書館長〕

失礼いたしました。4交流センター以外の図書室という事で、よろしいでしょうか。もちろん、地域交流センターは、17館あり、それぞれ図書室・図書コーナーがありますので、組み込めれば良いかなという気がいたしますが、オンライン化するには、図書館システムに相当な費用がかかりまして、年間の図書購入費に近いぐらいのお金がかかっております。そういったところも考えながら、冒頭から申上げている図書館懇話会でも、提言としまして、これだけ広いつくば市におきましては、図書館サービスが受けられるポイントが少ないのではないかという御指摘もございまして、新たな施設を作るという事は、大変厳し

様式第1号

い状況である事は事実でございますので、今ある施設等も改修しながら、そういったソフト面の充実も検討の課題に挙がると思います。申し訳ございませんが、すぐにオンライン化はできませんが、中央図書館で展開していますホームページ上での検索システムは、どこにいても使える、そういった環境があれば使える訳でございます。御活用いただきながら、ソフト面で工夫をすれば、できるところもあるかもしれませんので、まずは市民の皆様につきましては、今あるウェブサービスも御利用いただければと思います。

〔議長〕

よろしいですか。他にございますか。それでは、貴重な御意見もいただいたという事を生かしていただく事を前提にいたしまして、令和元年度事業実績報告並びに令和2年度主要事業の概要について、原案通りに決定する事に御異議ございませんか。よろしいですか。それでは、全会一致で承認されました。次は、文化芸術課の担当部門になりますので、お願いいたします。

〔文化芸術課長〕

文化芸術課では、9頁から11頁までの3つの区分について説明させていただきたいと思います。まず、9頁のつくば市民文化祭でございます。決算額につきましては、1年間で66万7千円でございます。事業実績でございますが、資料を御覧になっていただきたいと思います。展示部門といたしまして、絵画・書道・華道・俳句・盆栽等の展示と、ステージ部門といたしまして、民謡・コーラス・ダンス等のステージ発表がございます。そして、ノバホールを会場といたしまして、音楽会を開催しております。その他、お茶会や囲碁・将棋・お

様式第1号

話会・そば打ち等の事業を開催しています。加えまして、中央会場、つくばカピオ、その他、小・中学校に御協力をいただきまして、書道と絵画を展示する小・中学校芸術展を行いました。実際の来場者数ですが、全会場の合計としましては、35,503名、前年比で5,045名増になります。3か所の全会場の合計といたしましては、団体数として、358団体、延べ4,856名の方々に御参加いただいております。目標に対する成果といたしましては、各団体における日頃の成果発表の機会、参加者同士の交流の機会の提供を行う事ができました。また、茎崎ですが、茎崎夢祭り等地域行事との同時開催により参加者は前年度よりも増加しています。課題の対策といたしましては、参加団体の受付様式の申請を行うものが紙様式となっていましたので、新型コロナウイルス感染症対策としても、インターネットでの申請様式の検討を行っていきたいと考えております。続きまして、11頁を御覧になっていただきたいと思います。地域交流センター講座でございます。決算額につきましては、416万1千円でございます。事業実績につきましては、全2回（前期5月、後期9月）で、広報つくばにて受講生を募集し、併せて130講座を実施しました。内訳としましては、一般向けが111講座、小・中学生向けが2講座、高齢者向けが5講座、親子向けが12講座でございます。また、平日昼間の参加が難しい方に対応するため、夜間に5講座、土日祝日に16講座を実施いたしました。筑波・大穂・吉沼・豊里交流センターにつきましては、毎年行っている高齢者卓球を開催し、延べ1,235名の受講がございました。なお、3月に予定しておりました地域コーディネーター講習会ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。目標に対する成果といたしましては、受講者数は7,166名、内訳としま

様式第1号

しては、地域交流センター講座が5,931人、高齢者講座が1,235名でございます。課題と対策としましては、サークル団体における地域交流センター施設利用の増加に伴い、市民の要望や社会の要請に合わせた現代的な課題をテーマとした講座の開催等、内容や質を指標とした目標への見直しに引き続き努めて参りたいと思います。続きまして、11頁を御覧いただきたいと思います。こちらの生涯学習施設・文化施設のホールは、ふれあいプラザで行っております。決算額につきましては、6,281万4千円でございます。総利用者数は6万2,753人で、そのうち、利用料の免除者数は3万270人で、免除率は、48.24%でございます。自主事業の実施といたしましては、講座が620講座、総開講回数が1,680回、1万948人の参加がございました。発表会等のイベントも開催し、延べ2,818人の参加がございました。続きまして、アンケートの実施状況について報告いたします。回答は、737件でございました。内容としましては、管理は行き届いているか、利用しやすいか、職員の対応、講座の満足度等についてのアンケートを行った結果、約8割の利用者から満足をいただけた事が分かりました。今回、新型コロナウイルス感染症の影響で2～3月の利用者数が減少した事で、前年度の実績である7万3,000人よりも約7,000人の減少がございました。こちらにつきましては、新しい講座の開設を行い、利用者のニーズに対応しました。引き続き、アンケート内容を反映しながら利用しやすい施設の運営に取り組んで参りたいと思います。次に、令和2年度の資料2を御覧いただきたいと思います。9頁から11頁です。今年度のつくば市民文化祭でございます。今年度の予算額は1,175万7千円でございます。目標と概要ですが、記載してありますものを実施する予定でしたが、実行委員会で話し合った結果、新

様式第1号

新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、今年度につきましては、開催を中止し、来年度改めて会場を設置し、開催をするという形をとりました。やはり、皆さん1年間の自分達の文化活動を目に見える形で発表できないかという事で、代替案として、SNSを活用したインターネット上での作品発表の機会を提供できるよう、現在調整し準備を進めているところでございます。具体的には、ホール等を利用しながら、無観客で動画配信を行う事ができたらいいのではないかと考えております。続きまして、10頁を御覧ください。地域交流センターの講座です。予算額につきましては、675万1千円でございます。目的概要としましては、市民に学習機会を提供し、生涯学習社会を実現するため、市内17の地域交流センターで自主企画の講座を開催しまして、10月に受講生を募集しております。例年、年2回の講座を実施しておりますが、5月に予定しておりました前期の講座につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止になりました。後期の講座につきましては、47講座、定員880人で、10月に募集を開始する予定でございます。講座の内容につきましては、高齢者、小学生、親子向け等幅広い利用者層に向けたものを企画しております。夜間の講座の開講も行う予定です。また、つくば市の消費生活センターや消防署等との連携による普及促進講座を無料で行っております。今年度の目標といたしまして、受講者につきましては800名とし、新型コロナウイルス感染症対策のため、定員を減らしての開講を予定しております。事業の課題としましては、前期で開催を予定していた講座は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮した形で、後期も開催を見送った講座がありました。アンケートにより、利用者の多様なニーズを把握しまして、安全性と講座の内容の充実を

様式第1号

図っていく必要があると考えております。最後に、11頁を御覧いただきたいと思っております。ふれあいプラザでございますが、今年4月から5月に関しましては、国の要請や外出自粛等もありまして、正常に稼働できなかつたところがあります。6月以降は、国の指針に基づきまして、施設の定員の半数の4,000人を下回る人数で施設の利用を行っているところでございます。昨年度の実績よりも収容人数約3万人程度の利用を目標として掲げています。また、講座につきましましては、約600の講座を開講予定でございます。事業の課題といたしましては、10年以上経過している建物についての欠陥や老朽もありまして、修繕箇所が増加しているところであります。そういった利用料についての減免もありまして、なかなか修理ができていないところがあるので、優先的などころを把握し進めながら、同時に利用者の皆さんが安全に御利用いただくために施設の入口にカメラ（体温が可視化できるもの）を設置しております。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、講座の内容の見直しと幅広い年齢層への利用の促進を図っていく必要があると考えております。

〔議長〕

新型コロナウイルス感染症の関係で、良くない状況がたくさんございますが、何か御質問・御意見等はございますか。

〔社会教育委員〕

毎年、行っている高齢者学級ですが、どのような内容でどれくらいの年齢層なのかを伺ってもよろしいでしょうか。もう1つは、60歳以上の高齢者は若い

様式第1号

ので、個人的には違和感があるのですが、高齢者は60歳以上なのかなという、その2つを伺ってもよろしいですか。

〔文化芸術課長〕

おっしゃっていただいたとおり、その書き方は失礼な言い方だと思います。大変反省しております。皆さんとオリエンテーションを行った時に、「私達60歳以上の高齢者は」という言葉を使った事が、大変失礼だったかなと思っております。申し訳ございません。先程、最初に御質問にあった高齢者学級の部分ですが、やはりこれは4地区、筑波、豊里、吉沼、その他で地域の長の方や、世代的には70歳から80歳までの方が多いです。その方達が、実際に自分達で課題を話して、こういった施設を自分達で運営していくと言った事を勉強していただきたいので、バスを実際に借りて、乗っていただいて、その場所まで行って無料で研修に行ってもらった形のをここ数年、毎年行っております。ただ、やはり今年は新型コロナウイルス感染症の関係で、バスがどうしても空かないものもありまして、3密が避けられないと言う事で、今年は中止する事になりました。

〔社会教育委員〕

どんなところに行かれたのですか。

〔文化芸術課課長〕

テーマは、皆さん色々な事に興味を持たれていますので、健康であったりとか、地域作りであったりとか自分達の地域の中で非常に参考になるようなもの

様式第1号

については、率先して皆さんで行かれております。結構、参加率は皆さん高いです。

〔議長〕

よろしいですか。他にありますか。社会教育委員、お願いします。

〔社会教育委員〕

それでは、2019年度の実績報告について、荃崎ふれあいプラザの開催回数が1,680回という事で、251日の開館日数だと1日平均6回です。すごく多いと感じました。他の公民館講座から比べれば、数倍、数十倍になるようなペースという風に思うのですが、その辺の詳しい話を聞きたいと思います。

〔文化芸術課長〕

社会教育委員のおっしゃるとおり、ふれあいプラザについては、指定管理者制度を設けております。当然ながら、こちらの指定管理者さんは、実施数に力を入れたいという事で、指定管理者さんが独自で自分達で講座を作って組んでいます。通常地域交流センターでは、あまり講座を多くしてしまうと、貸館側が圧迫してしまう部分がありますので、近年は、皆さんの活動が活発になって来て、状況を利用率のパーセンテージを見ながら、通常地域交流センターについては、ある程度の講座数を了承しているところです。ただ、指定管理者さんについては、独自でアンケートや要望といったものもやっていきたいところもありますので、講座の先生を見つけてこちらでやっていけるところはあり

様式第1号

ますので、先程、おっしゃっていただいた通り、回数はかなり増えて来ています。

〔社会教育委員〕

こちらは、受託者制度で選ぶという方法でやっているのでしょうか。上手に運用される施設になれば、ちょっとでもメンテナンスの点で、お金がかかると言う事であっても、平たい事から考えていけば良いのではないかと思います。市の施設で、市のお金で運営しているものですが、市内の地域交流センターについても、心掛けてまた行って見るという気持ちを利用者が持てるようになれば良いのかなとも思います。以前の私の時とは考えが変わって、もっと運用ができる、例えば、つくば市の施設とかも民間の運用ができれば良いのではないかと思います。

〔文化芸術課長〕

社会教育委員のおっしゃるとおり、今、企画の方で出されました、色々な形で検討を行って、市の公共施設を市で運営できるもの、また、指定管理にしたのですが、直営に戻した方が良いものがあると思います。新型コロナウイルス感染症の関係で、通常どおりの運営が出来なくなっている事もありますので。利用者の利用料で運営して来ましたが平成22年までは公民館のままで、利用料は免除と言う事で使えた時期がありましたが、今後も施設については、より市民の皆さんが利用しやすく明るい施設で、皆さんが自分達の生涯学習ができる、

様式第1号

そういったスペースにする必要があると思いますので、今の御意見については、しっかり加えておきます。

〔議長〕

よろしいですか。他にございますか。社会教育委員、お願いします。

〔社会教育委員〕

2019年度事業実績ですが、一般向けが111講座、小・中学生向けが2講座という事ですが、その小・中学生向けの2講座の内容とその参加人数を教えてくださいなればと思います。

〔文化芸術課長〕

小・中学生向けの2講座につきましては、具体例を把握しておらず、申し訳ございません。講座自体は行われています。また、土・日につきましては、小・中学生向けに行われていると思います。内容を確認いたしますので、少しお待ちいただいてもよろしいですか。

〔議長〕

よろしいですか。調べていただく間、何か御質問はありますか。

〔社会教育委員〕

ふれあいプラザと地域交流センターの違いがよく分からなくてずっといたのですが、今、社会教育委員からの御質問で、少しは分かって来たのですが、ふれあいプラザは、荃崎町がつくば市に合併する前に、荃崎で作ったもので、そ

の後、つくば市が面倒を見るという形になっています。私は、地域交流センターの講座とふれあいプラザの講座のどこに違いがあるのかなと、ずっと思っていました。今のお話を聞いて、指定管理とか、つくば市としては、あまり考えていなかった、ふれあいプラザが茎崎町と合併した事で、その後、ドタバタしているのかなという感じがしています。それは指定管理だからかと。もう一つは、基本的な事ですが、これを教えてもらえないでしょうか。私が現役の頃は、公民館と言っていましたが、いつの間にか地域交流センターの名称に変わっています。他の市町村を見ると、公民館ですよ。どうして地域交流センターなのでしょう。長くて言いづらいので、公民館で良いのではないかと私は今でも思います。何がどう変わって、地域交流センターという長い名前になったのでしょうか。現役を辞めて、しばらく経つので、私もよく分かりませんが、いつ名前が変わったのでしょうか。たいした名前の違いでないのなら、公民館でいいと思います。土浦市とか周辺市町村を全部見ても、まだ公民館ですよ。どうしてなのか、これを明確に答えていただけたら、有り難いと思います。私としては、公民館の方が、通りが良いと思います。

〔文化芸術課長〕

ありがとうございます。平成21年までは、17公民館という事で、社会教育施設は公民館という事で運営されてきました。利用につきましても、地域をある程度限定した形で、地域の特性のある公民館運営が行われて来ました。当時の政権で法律の改正がありまして、公民館をいわば法の施設という事で、社会教育施設から一般的な地域に根ざした地域交流センターにしてもよろしいですよ

様式第1号

というような言付けがございました。地域の方とも議論を重ねたと言う事ですが、最終的には平成22年度から地域交流センターとして運営をしていくという事になりました。現在としては、地域を限定したりせずに、どの地区の方でも利用できる施設でございます。今までの公民館につきましては、地域の中で運営されて、それなりの人数で利用されて来ましたが、今は車を利用して、皆さん人気のある地域交流センターに行ってしまうので、そういった事で、施設が手狭であるとか、こういった施設にしてください等、そういった要望は多く出てくるところでございます。今後につきましては、TX沿線に地域交流センターがない状態ですので、地元の皆さんからも要望が出ておりますところを一つ一つ検討した上で設置を考えています。

〔社会教育委員〕

よく分からないのですが、公民館の時と地域交流センターの時で、何が変わったのでしょうか。利用としては、大きく変わったという話ですが。

〔文化芸術課長〕

生涯学習的な活動はやはり変わりません。利用料は、有料となりましたので、有料のお金で施設の修繕を行えるようになりました。

〔議長〕

これは、良し悪しの問題ではなくて、実際には、色々ありましたけれども、地域交流センターがよろしいだろうという事で、進めていると思います。御意

様式第1号

見として、他にありましたらお願いします。それでは、他に御質問はございますか。社会教育委員、お願いします。

〔社会教育委員〕

専門に勉強している立場からすると、公民館に是非、戻していただいた方が良いのではないかと個人的には思います。地域交流センターとふれあいプラザもそうですけれども、この新型コロナウイルス感染症の状況の中で、様々な講座が行えなくなっていて、現場の職員の御苦労も大変だと思います。それで、例えば、施設を閉館せざるを得ない時期や、講座を中止しなければいけないという事は、非常にたくさんあるのではないかと思います。この新型コロナウイルス感染症の状況の中で、新しく対応して行った事業等がありましたら、教えていただきたいと思います。それから、地域交流センターや、市民に関する施設、教育施設もそうですし、中央図書館もそうですが、Wi-Fi環境が、どの程度、整備されているのかという事について、御承知の範囲で教えていただければと思います。

〔文化芸術課長〕

やはり、新型コロナウイルス感染症の関係で、施設も新たな環境整備が求められております。後者を先に御説明させていただくと、Wi-Fi環境ですが、避難所になっている場所も含めて、早めの環境整備をお願いしていますが、昔からある施設で、配線や中継する設備が高額で、予算が取れないという事で、現状的には17ある地域交流センターには不十分なところがあります。今回、国の補正もありまして、情報政策課で進めているのは、市民ホールに併設した会議

室が多くあるところから先にWi-Fi環境を整えていきたいと思いますという事です。

現在、検討に入って、まもなく工事等についても進められるのではないかと思います。ただ、17の地域交流センター全部の工事を進められるのかという事になりますと、まだ、回答をいただいている状況ですが、各地域交流センターの利用については、国の指針に基づいて、半分の人数（50パーセント）の利用という事で、マスクの着用や距離感を取り、対面型にならない事等を明記したガイドラインを設けまして、皆さんに利用をしていただいているところでございます。施設の換気等、新型コロナウイルス感染症予防対策等もしながら、今後の新型コロナウイルス感染症の第二波に備えるために必要な部分がありますので、入口に非接触型の体温計を整備する事や、換気を行うために窓がないところには、例えば、サーキュレーター等で強制的に排気を行うという事ができないか等、様々な対策を考えています。しかしながら、施設の発表会という事になりますと、市民の皆さんを集めるというのは、現状では難しい部分がありますので、そういうところは、ホールを無観客の状態にしてSNSで発表の様子を配信する等、会場を完全に100パーセント安全な方へ今の時期はシフトして、完全に活動できるようになれば、リアルなステージに戻していくところを検討しています。

〔議長〕

施設の利用が減って、人数もあまり集まれなくなっている状況の中で、予定していた講座や活動はできないかもしれませんが、今の状況だからこそ、できる事もおそらくあるはずです。各館の職員の考え方にもよるかもしれませんが、

例えば、他の地域であれば、マスクが品薄だった頃には、マスクの作り方を公民館が中心になって、地域の人達に呼びかけたり、あるいは、子ども食堂も活動ができない中で、地元の余っている野菜を集めるセンターとして、公民館あるいは地域交流センターで、職員が自分達のネットワークの中で声を掛けて、新しい役割をそこで果たしたり、そういうような活動等があると思います。そういう意味では、地域交流センターが、全市的に同じような事をするというよりは、地域交流センターは、地域の施設なので、その地域でネットワークを作りながらできる事もあると思うので、是非、そういう事を各館でそれぞれ考えてやっていただきたいと思います。それから今は、地域交流センターごとのホームページというのは、そんなに充実していないのではないかと思います。そういう意味では、地域交流センターごとに自分達で情報発信したり、あるいは地域からそういった声を集約したりという意味では、ホームページをもう少し目立つようにする等考えていただけたらと思います。

〔文化芸術課長〕

社会教育委員のおっしゃるとおりだと思います。つくば市には、600近い自治会があり、そこで集会所や児童館があり、いろんな活動を皆さんは新型コロナウイルス感染症の時期であってもたくさんやられています。そういったところでも、17の地域交流センターは、それぞれの中心にありますので、今のような活動は、十分連携をしていける部分があると思います。今後も、おっしゃっていただいたような事も考えながら、活動していきたいと思います。

〔議長〕

様式第1号

よろしいですか。はい、社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

質問です。例えば、高校生が小学生に科学の実験を教えるような講座を学校が企画して交流センターでやってもらうという事は可能なのでしょうか。

〔文化芸術課長〕

学校で企画をしてという事でしょうか。

〔社会教育委員〕

講師は高校生です。

〔文化芸術課長〕

事例が少ないので、検討させていただいてもよろしいでしょうか。通常の講座ですと、材料費等で200円～300円はいただいています。あとは、何回の講座という形で行っている部分があります。やはり、講座の1つの目的としては、そういったものを地域の方、多世代の方が興味を持ってその講座を受けたいという要望がアンケートでも寄せられています。今回のお話は、今までにない話でしたので、即答は難しいのですが、検討はできると思います。

〔社会教育委員〕

後で御相談に行くと思います。

〔議長〕

様式第1号

そういう御意見でございますので、検討していただくという事で、よろしいですか。他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

資料1の10頁に、地域コーディネーター講習会とあります。この地域コーディネーターとは、どういうものなのでしょうか。教えてください。

〔文化芸術課長〕

地域コーディネーターは、市民協働とか市民活動的なところも含んでいるものです。以前は、行政がある程度のステージを作って、「この事に対して、皆さん活動を行ってください」という事が多かったのですが、実際には、他の地域の方でも、この地域を自分達で「こういったまちづくりをしてみたい」、「こういった活動を3世代交流でやってみたい」という事を言われる事がありましたので、実際にコーディネートできる先生、今回は筑波学院大学の武田先生を予定していたのですが、この先生は何年もこういった事をやられている、非常に特化している先生とやろうと考えていました。そういったところでは、それぞれの地域の皆さんで、色合いが出せる、色々な生涯学習活動ができるという事ですが、今回、予定をしていた講座は、残念ながら中止となりました。

〔議長〕

よろしいですか。文化芸術課長、先程の社会教育委員の答えは出ましたか。

〔文化芸術課長〕

様式第1号

先程の小学生講座についてです。1つは、春日交流センターのリトルパティシエという講座で、冷たいゼリーを子ども達に作っていただく内容で、料理研究家の方にお越しいただいて、開催したものがありません。それから、桜交流センターでは、キッズの工作教室を開催しました。実際に木材を使って、本棚を作る内容で、小学校4年生から6年生までを対象として、実際に制作していただいた実績がございました。

〔社会教育委員〕

参加人数について、教えていただけますでしょうか。

〔文化芸術課長〕

リトルパティシエにつきましては、対象が小学校4年生から6年生、定員10名で申込みも10名でした。キッズ工作につきましても、対象が小学校4年生から6年生までの定員10名で4名の参加でした。

〔社会教育委員〕

キッズ工作は4名ですね。

〔文化芸術課長〕

はい。

〔社会教育委員〕

様式第1号

事業実績では、小・中学生向け2講座とありますが、実際には、小学校4年生から6年生までという事ですので、中学生は入っていないという事ですね。

〔文化芸術課長〕

申し訳ございません。おっしゃるとおりです。

〔社会教育委員〕

17の地域交流センターで取り組んだのは、春日交流センターと桜交流センターの2館で、併せて14名が参加という事ですね。学校現場にいる者の希望としては、もう少し小・中学生向けの講座が、たくさんあって、学校ではできない社会教育の視点から考えられた講座に参加する小・中学生が多くなる事で、多くの社会体験を積む事ができるだろうと思いますので、そのような講座を増やしていただきたいと思います。例えば、中学生向けだと、他の市町村では赤ちゃんと触れ合う講座を作っているのを見た事があります。そういったものは、学校教育でもできない事はないのですが、社会教育だからこそ効果があると思います。それから、小・中学生向けが2講座、親子向けが12講座。この親子向けというのも、参加は10組20人とか、6組10人とか、そういう募集ではないかと思います。やはり、つくば市全体の人口からすると、あまりにも少ないのではないかと思います。また、一般向けが111講座、高齢者向けが5講座の全部で130講座を社会教育講座、生涯学習講座として開催しているという事でもそうですが、現在のつくば市の人口は24万3,000人いると思います。もともと各地域交流センター等でたくさんの講座があるべきなのではないか、大きな市だ

様式第1号

けに、そういう事も考える必要があるのではないのかと思いました。御検討ください。

〔文化芸術課長〕

講座につきましては、年々、様々なバリエーションを広げなければいけないという事で、講座部会というのを設けております。アンケートでは、利用者の希望を聞いていますが、年齢層が高い事もありまして、こういったものをしていただきたいという事が、固まって来てしまうところは、確かにあったと思います。今、おっしゃっていただいたような事が、もっと裾野が広がっていくのであれば、そこも今後、検討していくべきだと思います。17の地域交流センターにつきましては、職員が再任用1名と正職員1名、会計年度任用職員1名の3名ぐらいで、今、運営しているところがあります。各講師の先生方等、裾野をもっと広げていきながら、今後も今の御意見どおり活動していきたいと思っています。

〔社会教育委員〕

県の生涯学習センター等では、知の循環型社会を目指すという事で、講座を受けた人が、「自分が次はこういう講座をやってみたい」という風に広げていく方式で講座を増やすというのが良いとされているようです。つまり、17ある地域交流センターの職員が一生懸命、「こんな講座を作ろう。こんな講座があったらいいだろう」というのは、限界があるのではないかと思います。色々な講座に参加した人が、「次にあなたは、どういう講座をやりたいですか」というように循環していく。今まで生徒だった人が次の先生になる。そういう意味

様式第1号

では、先程、社会教育委員がおっしゃってくれた、高校生が小学生に教えてくれる、あるいは大学生でも良いのですが、そういった知の循環型社会をつくば市でやれたらいいなと思いますので、よろしくお願いします。

〔議長〕

大変、貴重な御意見が色々出ました。是非、事務局は、真剣に受け止めていただきたいと思います。他に御質問・御意見はございますか。それでは、文化芸術課においての令和元年度の事業実績報告並びに令和2年度の主要事業の概要に対して、原案どおりに決定する事に御異議はございませんか。ありがとうございます。色々な御注文がつかまりましたから、そういう事も活かしていただく事を条件でという事で、よろしいでしょうか。それでは、決定いたしました。次は、スポーツ振興課になります。

〔スポーツ振興課長〕

それでは、資料1の令和元年度の事業実績報告について、順次、御説明させていただきます。はじめに、12頁のスポーツ推進員、スポーツ推進審議会委員でございます。こちらの委員につきましては、それぞれ条例・規則に基づく非常勤特別職でございます。スポーツ推進員につきましては、70名、スポーツ推進審議会委員につきましては、10名ほど委嘱をさせていただいております。また、事業概要実績につきましては、資料のとおりとなっております。なお、事業の主な成果としまして、スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員につきましては、つくばマラソンや、つくばスポーツフェスティバル等、市の主催イベントに積極的に関わっていただいた事で、各大会とも円滑に運営する事がで

きました。また、スポーツ推進審議会におきましては、昨年度2回ほど開催しまして、市のスポーツ推進計画に基づく事業の取組み状況や、成果に対して、意見・助言等をいただき、次年度の各事業・実施等に反映する事ができました。続きまして、13頁のスポーツ大会開催についてです。こちらの詳細につきましても、概要と実績は、記載のとおりでございます。主な事業の成果としましては、つくばマラソンが、スポーツ振興課で一番大きなイベントなのですが、つくばマラソンのテーマに掲げております「マラソンを科学する」の一環として、令和元年度よりペース戦略を科学するという新たなテーマに取り組み、参加ランナーのビックデータを解析しまして、マラソン成績とペース配分の関係等、ペース戦略の指針となるデータを広く公開し、マラソンや、ランニング等の振興に寄与しました。さらに、他のマラソン大会との差別化を図る事ができたと考えております。また、同じくマラソンですけれども、沿道の応援に新たに筑波大学の野球部員80名ほどに参加をしていただきまして、例年以上に沿道応援が盛り上がりました。続きまして、最後に14頁のスポーツ教室開催につきましても、概要実績は記載のとおりでございます。主な事業成果としましては、昨年度は、国体が開催されましたので、それに併せたアーチェリー等の競技がございましたので、アーチェリーの教室やリズムトレーニング等、市民公募で採用した教室を含め10教室を実施し、市民のスポーツ活動の推進を図りました。また、参加希望の多い教室につきましては、回数や定員を増やして開催する等、市民ニーズにも対応しております。なお、予算と決算の部分で、だいぶ差がございます。これにつきましては、2月以降、特に新型コロナウイルス感染症の関連で、教室を中止しましたので、決算額は、だいぶ差が出ておりま

様式第1号

す。続きまして、資料2の令和2年度の主要事業の概要でございます。今年度の主要事業につきましては、事業全体として、基本的に昨年度までの内容を踏襲しながら、よりブラッシュアップして、実施していく予定でございました。しかしながら、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大、そして、影響が長期化する状況により、現在のところ、事業の中止や延期等を余儀なくされている状況でございます。つくばマラソン等本年度に中止とした事業につきましては、来年度の開催方法等について、現在、様々な観点から検討を行っているところでございます。なお、スポーツ教室ですけれども、4月から6月までは実施を見合わせておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、今後も参加者の安心・安全を第一に考えて、できる限り開催する方向で、現在、検討を進めているところでございます。

〔議長〕

それでは、質問あるいは御意見を承ります。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

資料1の12頁です。予算額と決算額の差異については、説明がございましたけれども、資料2の令和2年度の予算額との差額もやはり予算額上1,000万円ちょっと違うという事がございます。その内容について、御説明いただきたいと思えます。

〔議長〕

よろしいですか。令和2年度の主要事業の概要ですね。

様式第1号

〔社会教育委員〕

そうです。資料1が12頁。資料2も12頁になります。令和元年度と令和2年度のスポーツ推進員・スポーツ推進審議会委員の予算額との差異についての事です。

〔スポーツ振興課長〕

今年度は、関東スポーツ推進委員研究大会が、つくば市で6月に行う予定でございました。そちらの予算分が、昨年度より100万円ほど多く計上していたところです。実は、この大会は、1都6県で毎年持ち回りにより開催しております。最後まで実施ができないかという事で、関東の主幹の方でも、色々検討されていたようですが、結果としては中止になりました。その分について減額をしていこうという形でございます。

〔社会教育委員〕

それは、令和元年度の予算決算の差異の話ではなくて、令和元年度の予算に対しての令和2年度の予算で、令和元年度の予算決算の差という事です。

〔スポーツ振興課長〕

そうです。これにつきましては、実際にスポーツ推進員、スポーツ推進審議会委員の報酬と費用弁償が主な額なのですが、基本的には、満額全員参加で取っているのですが、そこにつきましては、どうしても参加できなかったという

様式第1号

事がございまして、その差額になります。70万円ほどの差額で不用額として、決算しております。

〔社会教育委員〕

わかりました。

〔議長〕

他にございますか。どうぞ。

〔社会教育委員〕

スポーツ振興課にスポーツレクリエーション係があります。こういう位置付けで、事業に取り組んでおられる訳ですけれども、レクリエーションという範疇にあるという事は、例えば、登山であるとか、そういったものも含まれるのでしょうか。

〔スポーツ振興課長〕

そうですね。実際には、登山もスポーツという事から基本的には、範疇になると思うのですが、積極的には行っていません。トレイルランという形であれば、取り組んでいるところでございます。

〔社会教育委員〕

トレイルランというと比較的若い方、大人が対象になってくると思います。登山という範疇で捉えますと、昨今は子ども達が自然に触れながら、自然の大切さや、自然の影響を体験する機会が、私自身も含めて減って来ているように

感じています。そういう意味においては、例えば、子ども達を対象にして、筑波山登山をする。その登山をしながら、自然に触れる。体も動かす。そして、地球気候変動による地球温暖化の影響を筑波山の山頂のブナ林や、そういったところで学ぶ。こういう事も必要な機会があれば、是非、検討をしていただきたいと思います。私は、ジオパークに関わっていますので、そういう観点から例えば、新型コロナウイルス感染症が始まる前ですが、筑波山地域の中には入っていないのですけども、小美玉市から小学校1・2年生対象に筑波山登山の依頼があって、今年の7月実施しました。そういう事をする、子ども達の目が輝いてきます。是非、つくば市でも取り組めるような事ができると良いと思います。「それは、ジオパーク室でやったらいいじゃないですか。」という意見や考え方もあると思いますが、私は、企業で仕事をして、退職後、環境教育等に取り組んでいるのですが、少しお互いに、セクションの壁という事を少し乗り越えて、協働しながら取り組めば、より質の高い生涯学習ができるのではないかと思います。これは要望という事で今後、御検討いただきたいと思います。

〔議長〕

要望という事で、受止めてください。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

資料の最後の14頁ですが、スポーツ教室を開催するに当たり、感染症対策を施しながら、開催するという事でしたが、それでも参加をためらってしまう人がいるのではないかと思います。既に実施されていたら、申し訳ないのです

様式第1号

が、市のホームページとかにその教室の様子を動画で配信するという事をやっていただくと、より多くの方が動画を通して体験できると思いますので、検討をお願いしたいと思います。

〔議長〕

御検討いただくという事で、よろしいでしょうか。それでは、スポーツ振興課に関わる令和元年度事業実績報告並びに令和2年度の主要事業の概要につきまして、原案どおりに実施する事に御異議ございませんか。

〔社会教育委員〕

異議なし。

〔議長〕

満場一致を持って、決定をいたしました。それでは、生涯学習推進課の担当部門でございます。1頁から6頁までの問題でございます。御説明願います。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

社会教育係の1頁から御説明させていただきます。資料1の1頁、生涯学習推進課社会教育係の家庭教育支援事業のから説明いたします。事業実績といたしまして、家庭教育学級につきましては、各学校において76学級を開設して、学級生が12,392名、参加学級生数が12,392名、総参加者数13,588名の参加がありました。次に、家庭教育講演会を2回開催して、参加者293名の参加をいただきました。各家庭教育学級の運営に関しましては、昨年度13人の社会教育指

様式第1号

導員で助言・指導を行い、家庭教育セミナーを幼・小・中・義務教育学校で開催いたしました。目標に対する成果といたしましては、学級の運営に際して、活動を通じた仲間づくりや、家庭での課題を話し合い、講師を招いての講演会の開催、各集会を通じて、教育の原点の再確認をいたしました。課題への対策では、家庭教育学級6つの柱を立てまして、今まで趣味や交流に偏りがちだった講座に対して、社会教育指導員を通じて、助言・指導を行った事により、大幅な改善が見られたという事です。続きまして、2頁の花と緑の環境美化コンクールです。このコンクールは、チャレンジいばらき県民運動が主催しているもので、毎年、市として参加しております。昨年度は、学校の部が4団体、地域の部11団体、団体職場の部で4団体フラワーロードの部で2団体の21団体の応募がありました。市で審査した結果、6団体を県に推薦いたしまして、応募団体に対しては、花苗や肥料等の購入を助成いたしました。昨年度は、県に6団体を推薦しました。その中から団体職場の部で浅野物産株式会社が県の審査に残りましたが、残念ながら、賞を受賞する事はできませんでした。次に、目標に対する成果としましては、応募者の目標は、12団体ですが、昨年度は、目標を上回る21団体の応募がありましたので、今後も、目標を上回るように周知をしていきたいと考えております。続きまして、3頁の生涯学習施設管理です。まず1つ目は、市民研修センターになります。北条の大池の麓にある施設ですが、こちらは指定管理で行っておりまして、健康講座や子育て講座、高齢者講座、趣味の講座等、各種講座を開催しております。さくら民家園も運営しております。研修や小学校の社会科見学等で御利用いただきました。目標に対する成果につきましては、市民研修センターは、社会福祉協議会が指定管理です

様式第1号

が、これまでと同様のサービスを行っておりまして、大変、好評を得ております。さくら民家園も、昨年度、イベントに使っていただきましたので、かなり多くの方に御利用いただいております。課題対策につきましては、両施設とも古い施設のため、修繕の予算の必要額を計上しながら、行っていきたいと考えております。続きまして、資料2の1頁、令和2年度の概要になります。目的・概要につきましては、昨年度と同様ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限いたしますけれども、オンラインや動画配信を実施していく予定です。課題につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、3密を避けた学級運営が難しいという事になっております。次に、2頁の花と緑の環境美化コンクールになります。こちらも昨年度同様の目的で行います。今年度の目標につきましては、応募団体数は14団体といたしました。審査期間が短く、写真撮影や審査準備を事前に進めていく事を考えておりますが、うまくいかないという事がございます。続きまして、3頁の生涯学習施設管理です。こちらは両施設とも、利用者数ともに計画よりも上回っておりますので、問題ないと思っておりますが、現在の課題といたしまして、両施設とも施設のガイドラインを作成して、安全に利用してもらう事が、今のところの最優先の課題という事になっております。

〔議長〕

続きまして、青少年教育係、お願いします。

〔生涯学習推進課・青少年教育係長〕

様式第1号

令和元年度社会教育事業の実績報告は、4頁から6頁までになります。まず、4頁を御覧になってください。青少年健全育成事業につきましては、決算額は約573万円です。事業概要及び目的としては、つくば市青少年相談員を青少年の取り巻く社会環境の健全活動等を行うために青少年育成者として、設置しております。相談員は、当初74人が中心となり、青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開しています。主な活動として、記載にあります4つの事業を実施しております。実績につきましては、あいさつ声掛け運動を120回行っております。各小学校、中学校、高校であいさつ声掛け運動を行いました。また、学校と相談員とで情報交換会を実施しております。こちらは、6月から8月にかけて実施し、学校での子ども達の状況把握をしております。続きまして、8月24日、8月25日の2日間においては、2班に分かれて、まつりつくばの啓発活動を行いました。その他にも、薬物防止ヤング該当キャンペーンの参加や、地区巡回パトロール活動を行っています。そして、「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動が11月から12月までに実施とありますが、実際は、7月から12月に実施していますので、訂正をお願いいたします。店舗訪問の活動をしていますA区分は、主に青少年に関わる深い店舗数という事で、72店舗を訪問していただきました。なお、青少年相談員だよりを年2回発行いたしました。その他にも、青少年の健全育成活動を展開するに当たり、市から青少年健全育成活動のための補助金を交付しています。補助金の交付団体としましては、つくば市子供会育成連合会の桜支部、大穂支部、豊里支部、本部の4団体に補助金を交付いたしました。また、青少年を育てるつくば市民の会の大穂支部、豊里支部、谷田部支部、荃崎支部、本部の5団体に補助金を

様式第1号

交付した実績があります。目標に対する成果につきましては、青少年相談員は、あいさつ声掛け運動を目標としていた120回をクリアしまして、皆さんそれぞれの学校において、挨拶をする児童が増えてきているという事で報告をいただいています。また、訪問活動実施店舗につきましては、既存登録店舗数が434店舗、そのうちA区分が72店舗と報告し、うち新規登録店舗を7店舗達成しまして、青少年健全育成を高める意識はできたと思います。また、課題への対策につきましては、青少年相談員が、青少年への声掛けや社会環境浄化活動を始めとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施し関係機関と連携を図りました。続きまして、5頁の青少年体験学習事業です。青少年体験学習事業につきましては、自己肯定感や自己有用感を育むという事で、社会力を育成するための事業を推進しています。その実績としまして、「つくばサイエンスラボ」を3コース行いました。また、青少年の居場所事業で、7か所の地域交流センターを利用して、居場所づくり、地域ふれあいコンサート等を実施しました。その他に、竹園高校生と市内中学生との交流会を実施した事を実績として報告しています。また、「この指と一まれ！」事業につきましては、8月4日にキックオフ説明会を実施し、10月27日には、6企画に基づいてドリームフェスタを開催する事ができました。その他には、子ども体験事業補助金としまして、21団体に補助金を交付した実績があります。目標に対する成果につきましては、「つくばサイエンスラボ」は、コース枠を午前・午後コースに拡大した事で、多くの体験ができました。そして、平成30年度から実施しました、「この指と一まれ！」の事業では、企画者、ボランティア、青少年相談員の協力を得て実現した結果、社会力の育成ができたと感じています。課題への

様式第1号

対策につきましては、体験機会を提供するために、夏の暑い時期の安全対策や熱中症対策等を考慮して実施しました。続きまして、成人の集いの開催事業の6頁を御覧ください。目的としましては、次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催するという事で実施しています。実績につきましては、令和2年（2020年）1月12日（日）につくばカピオで開催しました。対象者は2,720人、参加者1,844人で集う事ができました。式典開始は11時、式典終了は11時35分という時間帯でアトラクションを催し、盛大にかつ、円滑な式典が行う事ができました。目的に対する成果につきましては、昨年度よりも参加率が67.8%と上回り、目標を達成する事ができました。警備体制では、つくば中央・北警察署に御協力を得て、違法車両対策や、会場内外での参加者の安全確保を図る事ができたと思います。また、日頃、学業等でつくば市を離れている新成人全体の交流の機会を得る事ができたとも思います。課題への対策につきましては、成年年齢引下げ後のつくば市成人の集いの対象年齢及び名称について、慎重に審議をさせていただき、その結果、現行通りの20歳を対象とし、名称は、「つくば市二十歳の集い」で実施をするという答申を教育長に提出いたしました。続きまして、令和2年度（2020年度）の概要（資料2）を御覧ください。4頁の説明をさせていただきます。現在59名の青少年相談員が中心となり、青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業展開をしています。1つ目、例年行っておりました青少年相談員の総会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面評決として総会を行いました。そして、青少年相談員の役割としましては、次の4つのとおりです。1. 声掛け・相談等の青少年支援、2. 青少年に関する機関との連携、3. 普及啓発活動及

様式第1号

び社会環境健全化活動に関すること、4. その他青少年健全育成に資する活動を行っています。また、2つ目は、青少年の健全育成を展開する団体に補助金を交付していくという事を目的概要としています。こちらも団体名は、つくば市子ども会育成連合会及び青少年を育てるつくば市民の会に交付してまいります。今年度の目標につきましては、あいさつ声掛け運動を120回達成しようという事で掲げております。また、青少年の健全育成に協力する店の対応について、新規青少年相談員も入られたので、その協力する店の研修を積極的に推進していきたいという事で掲げております。また、事業の課題につきましては、青少年への声掛けや社会環境浄化活動をはじめとします諸活動をさらに効果的に行うために研修を実施するという事です。早速ですが、青少年相談員の研修活動という事で、店舗訪問の研修は、明日行う予定で、実施を計画しています。次の5頁を御覧ください。青少年体験学習事業も、自己肯定感、自己有用感を育むためという事で、社会力育成のために、事業を展開するという事で、次の4つの事業を掲げております。1つ目は、青少年体験学習事業、2つ目は、「この指と一まれ！」事業、3つ目は、青少年の居場所事業、4つ目は、つくば市子ども体験事業補助金という事が概要となります。今年度の目標につきましては、新型コロナウイルス感染症を講じて、慎重に検討しまして、青少年の体験活動が安全に実施できるように努めているところです。現在、青少年体験学習事業については、AコースとBコースは終わりました。また、「この指と一まれ！」事業ですが、8月12日のキックオフについて進めているところです。事業の課題としましては、青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえて、事業の展開を図っていくところです。6頁を御覧にな

様式第1号

ってください。つくば市成人の集いの事業です。目的は、昨年度と同じで、実行委員会を組織して、企画運営等を主体的に取り組み、期日は令和3年1月10日（日）、会場はつくばカピオ、アリーナ及びホールです。ホールは、これまで保護者の場所として開放しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ホールも成人の集いとして設ける事といたしました。つくば市のホームページにも掲載しています。該当者は約3,000人という予定です。参加者数も約1,500人を見込んでおります。課題としましては、新型コロナウイルス感染症について、非常に心配なところです。国や県、近隣市町村の動向を注視して、新たな生活様式を参照し、施設のガイドラインに基づき、参加者に対して社会的距離の確保（ソーシャルディスタンス）と保健衛生対策の徹底、消毒液の設置、マスク着用、入場時体温、体調チェック等を注意しつつ、共有物の衛生管理、換気の徹底に取り組みながら、回数を分ける等して、成人の集いを開催していきたいと思っております。

〔議長〕

早速、質疑に入りますが、事前に資料が配布されましたので、文書で質問が届いています。それを先に対応させていただきます。社会教育委員の質問です。事務局から御説明をお願いします。

〔生涯学習推進課社会教育係〕

事前にお配りしました御意見・御質問シートにつきましては、社会教育委員から御連絡がありましたので、内容をお読みいたします。資料1の1頁目です。家庭教育支援事業の課題への対策についてです。「講座の内容について、

指導を行い、改善されたようですが、この事業の一番の課題は、参加人数が少ないという事だと思います。上記の対策により、参加者はどうだったか知りたいです。実は、以前、趣味や交流を全面否定するのではなく、参加の動機として設定し、本筋と抱き合わせてはどうかと提言した事がありましたので。」という内容と資料1の3頁目の生涯学習施設管理の目標に対する成果についてです。「業務委託者の日頃の美化管理が大変行き届いており、対応も気持ち良くなされています。もっとたくさんの人に出入りしていただくために、催物もさらに工夫して欲しいです」との内容です。こちらの御意見・御質問に対して、社会教育係から回答をいたします。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

1 番目の課題対策についてですが、参加人数が少ないというような御指摘がございませう。確かに以前は、講座の内容がかなり趣味に偏っていたので、例えば、ネイルアートの講座を開催した事が家庭教育学級の事業の中身の一つというように行われていた側面もありましたが、新たに学びの5つの柱を作成いたしました。子どもの心身の理解とその発育、メディア学習、人権学習、食育、保護者自身の成長や視野を広げる伝統文化の伝承の5つを柱に、メディア学習や、人権学習、食育に関しましては、重点の学習課題と位置づけ、社会教育指導員にも伝えまして、各学級で事業を行っていただくようにという事で実施した結果、実際、以前よりは参加人数が少なくなってしまうという側面もありますが、中身的には、かなり5つの柱に沿った学習についての講座を行っていただきましたので、成果はあったと思います。次に、3頁の目標に対する

様式第1号

成果ですが、普段、美化管理が行き届いているとの御意見をいただきまして、ありがとうございます。市民研修センターについても、例年ですと4月に北条の大池の桜まつりを開催して、かなりの人数で賑わうのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とし、子どもが集まるような行事は、開催しづらい状況です。さくら民家園も5月は1か月の間、休園していたような状況です。できる事が限られてしまうのですが、今しかできないような事も考えながら、今年度からコロナ渦でもできる事を企画して、事業を進めていきたいと考えています。

〔社会教育委員〕

ありがとうございました。1つ目の質問ですが、講座内容を学びの5つの柱を設定されたとはっきりと指定していただいて素晴らしい事だと思うのですが、自分の体験も交えますと、そういうきちんとした設定や課題がある場合は、「この人は来なくてもいいのよ」という人が、集まって来る傾向があります。たくさんの保護者に来ていただく方策を考える事が、まず大事なのではないかと思います。家庭教育学級は、とても大事な事で、それが基本に子どもの成長があると思うので、できるだけ啓発活動は、大事にしていく必要があると思います。こんな事をやるという楽しみがあって、人集めの対策があって、それは3分の1や4分の1くらいのちょっとで良いと思います。ただ、その本筋を大事にするという事は、基本的に置いて、その現場に保護者の足を運ばせるという対策を取らないと、家庭教育がきちんと出来ている保護者が集まっ

様式第1号

て来るだけの会になってしまうのは、もったいないと思い、質問させていただきました。

〔議長〕

事務局、どうぞ。

〔生涯学習推進課課長〕

御意見をいただきまして、ありがとうございます。やはり、人が減ってきているのは事実だと考えています。ただし、データを確認しますと、平成27年度（5年前）の実績では、児童や生徒の参加数は12,501人、令和元年度の実績では、参加数は12,300人ですので、極端に少ないという訳ではなく、今までの趣味的な講座も取り入れながらのやり方が崩れて来ているのではないかと思います。人数の減少は、働いている方が非常に多くなり、その形式だけでは人が集まらなくなっていると感じています。また、家庭教育学級数も、平成27年度は77学級、令和元年度は76学級と1学級の違いです。学級生の総数が参加するという事が、なかなか増えていかないのは、そういう根本的な部分も含まれているかもしれませんので、その事も考えながら、今後も対応して行きたいと思えます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響により、オンラインや動画配信をしていく予定です。この事により、参加数が増えていくのであれば、そういう機会が少なくなって来ているという結果も出ると思えますが、もう少し検証して行きながら、今後の取組みに対して何をしていけばいいのかをお示しできればと思います。

様式第1号

〔議長〕

よろしいですか。それでは、重複しないように、お気をつけいただきまして、御質問をいただきましょう。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

家庭教育学級について、質問させていただきたいと思います。1つ目ですが、乳児家庭教育学級と幼児家庭教育学級を分けて開催されたという事ですが、乳幼児家庭教育学級としてやっていた時と、乳児と幼児に分けてやられた事による何か変化や成果が、もしあれば教えていただきたいという事が1つ目です。2つ目ですが、今年度の計画です。今年度は、乳児家庭教育学級が3か所、幼児家庭教育学級が4か所、保育所における家庭教育学級が5か所という形で、昨年度に比べて少し変化があったと思うのですが、その辺りの変化についてお聞かせいただきたいと思います。3つ目ですが、各地域交流センターにいた社会教育指導員が13名から11名になり、業務内容や講座で各家庭教育学級を担当し、また、社会教育指導員の業務を少し広げる形で社会教育指導員の役割の変化があったと思うのですが、その辺りの変化について、何かありましたら教えていただきたいと思います。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

1点目の御質問ですが、以前は、乳幼児家庭教育学級という事で、乳児から就学前までのお子様を対象とした講座を一緒に開催していましたが、乳児は2か月から10か月のお子様限定して、乳児家庭教育学級を開催しました。幼児

は、乳児以降から就学前までという事で、明確に年齢を分けた事により、年齢に合った学習をしていこうという事で、分けた経緯がございます。2点目の保育所につきましても、実際、働いている保護者が、家庭教育学級に平日の昼間に参加する事が難しいという場面が多いのが実情です。保育所の行事に合わせた形で、保護者がその時に来てくれるような、抱き合わせではないのですが、そういった機会に家庭教育学級にも御一緒に参加していただくように計画いたしました。また、社会教育指導員の役割ですが、以前は各地域交流センターにも配置していましたが、仕事の効率を考えると、1か所に集まって、仕事をした方が話し合いもスムーズに行きますので、市役所勤務に配置をいたしました。以前と同様に、地域交流センターの相談業務も行っていますので、支障はないと思います。

〔社会教育委員〕

ありがとうございました。乳児家庭教育学級と幼児家庭教育学級に分ける事により、発達に合わせた学習内容の適切性が増すとか、乳児の場合ですと、産休でお休みを取っておられる方が参加しやすいとか、色々メリットがあると思うのですが、個人的には、つくば市には兄弟がたくさんいる方が多くいますので、子どもが乳児と幼児で別れてしまった場合に、どちらに行ったらいいのか、あるいは先程もお話がありましたが、お母さんやお父さんが保護者のネットワークを作る、あるいは子育ての息抜きの意味があるのかなと思います。メリットやデメリットもあると思うのですが、少しその辺りも考えながら進めて行っていただけたらと思います。

様式第1号

〔議長〕

他にございますか。どうぞ。

〔社会教育委員〕

お話させていただきたい事が2点あります。私は、家庭教育学級に関わる講座等にたくさん参加させていただいているのですが、予算額に対して、決算額が意外と使われていないのではないかと思いました。社会教育指導員さんや学級生さんが予算がないと言って、こちんまりとした事しかされていないので、無駄に使う必要はないと思いますが、予算があるのですから、しっかり使わせてあげて、こうしたらいいよと言うようなフォローもしながら、予算を使わせてあげて欲しいと思います。私は、ちょっと前まで親子で楽しむ音楽童話館や、「つくば市での子育ての時期に、こんな風に過ごしていました」という体験談を家庭教育学級で講演させていただいていたのですが、その5つの柱の中に入っていないのか、ピタッとそういう講座のお声掛けが全くなくなっていました。お話を伺うと勉強がメインになっているみたいで、社会教育委員がおっしゃったように、お勉強も大切ですが、つくば市に不慣れな、地域にお友達を作りたい子育て世代を勉強はもちろんですが、温かい形で支援する、心の温かい気持ちになれる子育てをつくばで楽しめる事が必要だと思いました。私も、昨年度まで開催していましたネイルやアロマ、フラワーアレンジメントの講座を家庭教育学級で行う事は、やっぱり違うと思っていました。ですが、その音楽童話館や、先輩ママのちょっとした話等を家庭教育学級で行う事も、是非、やっていただけると嬉しいと思います。それから、2点目は、2年ぐらい

様式第1号

前にノバホールで、卓球のスーパーアスリートの平野美宇ちゃんのママと公開でインタビューさせていただいて、その公開対談がとても子育てに好評でした。平野さんは、スーパーアスリートの美宇ちゃんと障害を持つお子様と普通のお嬢さんの3人のお子さんを育てているお母様ですが、その話がとても良かったと好評でした。もし、予算がありましたら、そういったビッグネームのある人をお呼びして欲しいと思います。つくば市外のイベントでは、イクメンパパの杉浦太陽さんと公開インタビュー対談をした事があります。お父さんもお母さんも参加をされて、杉浦太陽さんのお話を聞く講演会だったのですが、平野美宇ちゃんのママと同じくらい若い世代の御家族に評判でしたので、もし予算があれば、2年に1回でもビッグネームある子育てを頑張っている著名な人を呼ぶ事で、関心も集まると思うので、そういった形もしていただけたら、嬉しいと思います。私にとっては、すごく大事な事業で、本当に応援していますので、是非、お願いしたいと思います。

〔議長〕

要望という事でよろしいですか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

資料1の4頁のあいさつ声掛け運動ですが、通年120回、小・中・高と書いてありますが、これはつくば市の青少年相談員さん74名が、各地区に分かれて挨拶声掛け運動をしているという事ですか。

〔係長〕

様式第1号

青少年相談員が主な地域6地区に分かれまして、それぞれの地域の小学校・中学校・高校と連絡を取合いつつ、今年はこの学校に行くという事で、計画を立ててあいさつ声掛け運動を行っています。

〔社会教育委員〕

学校の先生方関係なく、相談員さんと連絡を取り合っているという事ですね。

〔係長〕

色々形はあるのですが、支部によっては、校門だったり、秀峰筑波義務教育学校の場合は、バス停に立っていたり、それぞれの形で行っています。各支部、年間を通して10回。ほとんど毎日されている方もいらっしゃいます。実情では、120回は超えたという事で、報告を受けています。

〔議長〕

他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

質問と要望ですが、私も乳幼児家庭教育学級でボランティアに参加しましたが、社会教育委員が、先程、おっしゃったように、乳幼児を連れた方は、実際すごく多かったと思います。私が家庭教育学級に参加をしていた時も、保育ボランティアで参加していた時もそうですが、実際に両方抱えている方は、どうしているのかという実情が知りたいです。要望としては、私も役員側や保護者

側として、家庭教育学級にずっと携わってきたのですが、趣味に偏るとい
は、凄く分かるのですが、まずはお母さん達に来てもらう事が凄く大事だとい
う事が、身に染みて感じています。もう少し緩和していただけたらという皆様
の御要望にもう一押しというか、本当に来ないお母さんをどうやって来てもら
うのか。来る方が同じ方で、来なくてもこの方はしっかりしていらっしゃるの
にという方々が多く参加して下さる中で、もっと関わって欲しいなという方
にも参加してもらうためには、もう少しで良いので、緩和していただけたらと
いう要望です。

〔議長〕

御要望という事でございますか。先程の副議長の分も含めて、要望という事
で申し上げました。事務局、どうぞ。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

乳児と幼児の両方を抱えている方ですが、保育ボランティアさんにお願いで
きます。例えば、乳児の家庭教育学級に参加している方が、幼児のお子さんも
いた場合は、ボランティアさんに幼児のお子さんを預けていただいて、乳児を
連れて、乳児家庭教育学級に参加していただくという形も可能です。また、幼
児家庭教育学級に参加する方が乳児を抱えている場合も保育ボランティアさん
に預けていただいている間に幼児家庭教育学級を受講する事ができます。保育
ボランティアさんのお力をお借りしながら、そういった形での参加をお願いし
ています。また、予算の関係ですが、社会教育指導員や学級生さんが意外と予
算ないというのではなくて、一生懸命、削減してくれて、余っているところが

様式第1号

あります。また、講演会につきましても、御意見をいただきましたように、名前の知れた方を考えていきたいと思っておりますので、御意見として賜ります。

〔議長〕

課長、どうぞ。

〔課長〕

予算に関しては、各学校に配分できる十分なお金を用意してあります。例えば、1学級の講座回数を3回分用意して、1人いくらの講師でという形をお願いしていますが、皆さん忙しくて手が回らなくなり、3回のうち2回だけとはというような形になっているのが現状です。また、予算を上回る講師をお呼びしたい場合には、余力がありますので、例えば、素晴らしい講師を各学校で呼びたい場合には、こちらで補助をさせていただく事もあり、臨機応変に対応しています。また、先程もお話がありましたように、昨年度も著名な筑波大学の斎藤環先生に講師を御依頼いたしまして、社会教育講演会を開催いたしました。比較的、皆さんが良く知っている先生をお呼びしながら、地域の方に家庭教育や社会教育を学んでいただくという形で努力もしているところです。

〔議長〕

この事は、共通の思いがあると思われました。ありがとうございました。他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

様式第1号

花と緑の環境美化コンクールについてですが、令和2年度では、事業の課題という事で、審査期間が短いためにと書かれています。確かに、令和元年度と比較しますと、募集期間が6月上旬から6月下旬に変更されていますので、その背景が知りたいと思います。単純に考えますと、募集の締切り前に、色々な準備があると思います。例えば、写真撮影は県に推薦する際のタイミングに合わせて、募集期間を早めにするという事はできないのでしょうか。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

御質問の件ですが、花と緑の環境美化コンクールにつきましては、チャレンジいばらき県民運動から審査期間の通知が届きます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、このコンクールを今年度実施するかどうかの決定が遅れてしまった状況があり、例年よりも募集期間が遅く短期間になってしまったという事です。この事業は、全県的な事業のため、つくば市独自では、期間設定をできないというのが現状です。

〔社会教育委員〕

県とは、やりとりはされているのですか。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

県とは、やりとりはしていません。チャレンジいばらき県民運動で決定された審査期間に対して、市町村に通知があり、つくば市で各団体にお知らせするというような形です。主体的につくば市が関わっている事業ではありません。

様式第1号

〔社会教育委員〕

他の市町村でも、同様に審査期間が短いために、そのような問題が起きているのではないのでしょうか。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

応募団体数によると思います。当然、応募団体数が少ない場合は、あまり影響がないと思います。逆に、応募団体数が多い市町村の場合は、もっと大変な場合もあるかもしれません。つくば市の規模で、20件以上の申込みがありますと、市の業務も同時に行っていますので、業務が重なる事で時間が足りない状況です。

〔社会教育委員〕

現状では、こういう問題がありますという事は、県の担当部署にも伝えられると良いのではないかと思います。

〔生涯学習推進課・社会教育係長〕

ありがとうございます。チャレンジいばらき県民運動には、機会があれば、伝えます。

〔議長〕

他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

様式第1号

6頁のつくば市成人の集いについて質問です。以前は、学校ごとに、集合写真を撮っていたと聞いています。最近では、集合写真を撮っていないという事ですが、何か理由があるのでしょうか。また、今後についても聞きたいです。

〔生涯学習推進課・青少年教育係長〕

集合写真の件ですが、過去も現在もつくば市が集合写真を撮っているものはありません。私も成人の集いの担当になって、初めて知った事ですが、集合写真は写真協会が運営しています。つくば市に何店舗かありまして、その写真協会が、主体で場所を貸して欲しいという事で、成人の集いの場所として、「ここで撮影したらいいですよ」という事で、例年、集合写真を撮っていたようです。3年前になりますが、泥酔者がいまして、救急搬送されたという事で、前にも報告したと思うのですが、その事で写真協会と協議の上、止めましょうという事になりました。

〔社会教育委員〕

つくば市ではなかったという事ですね。

〔生涯学習推進課・青少年教育係長〕

そうです。

〔議長〕

他にございますか。社会教育委員、どうぞ。

〔社会教育委員〕

様式第1号

課題への対策のところ、答申をされたとの事ですが、「つくば市二十歳の集い」というネーミングがよろしいのではないかという答申をしたと思いますが、令和2年度の事業の概要で、そのネーミングがないのですが、また元に戻ったという事でしょうか。名前について教えてください。

〔議長〕

二十歳の集いという事で、答申しているのですか。

〔生涯学習推進課・青少年教育係長〕

はい。答申を受けたのは、2022年4月1日からなので、今のところは、成人の集いという事になります。

〔議長〕

私は承知していましたが。よろしいですね。他にございますか。それでは、お諮りをいたします。新型コロナウイルス感染症の関係で、予定している事業が、そのまま行くかどうかは、色々と問題がございますけれども、そういう事をお含めいただきながら、生涯学習推進課が関わっています令和元年度の事業実績報告並びに令和2年度の主要事業の概要に対して、原案どおりに決定する事に御異議ございませんでしょうか。

〔社会教育委員〕

異議なし。

〔議長〕

様式第1号

ありがとうございます。満場一致をもちまして、今日、定義されました議題は全て承認されました。今回、新しい社会教育委員が決定されたという事も含めまして、自己紹介等に長く時間がかかりました。通常は2時間ぐらいの予定で会議を行っています。事務局では、事前に資料を配付いたしますので、お気づきの点がありましたら、文書で事前に質問していただくという方法も取っていただけますと、ありがたいと思います。また、現状のキャッチボールしている中で、思い起こす事もあると思います。本日は、本当に皆様方には、真剣な御質問や御意見をたくさんいただきました。貴重な時間でしたが、長すぎまして、大変失礼いたしました。有意義な時間であったと思っております。途中で打ち切る事はいたしませんでしたので、皆さん方の考えや思いというものは、時間の問題でなくて中身の問題だという事を事務局にもしっかりと受け止めていただきたいと思います。本日は、皆さんの御協力をいただきまして、審議は全て終了いたしました。事務局で何かございますか。

〔課長〕

皆様、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。今後も社会教育行政に十分活かしていきたいと考えております。その他ですが、こういうコロナ禍の時代で、社会教育委員の皆さんに御出席をいただくという形が果たして良いのだろうかという事で、オンライン会議も含めた事を考えていかなければいけないと思いますが、運営規則には、一切、その旨の記載が書いてありません。定員数の半数以上が出席の場合という形の書き方をさせていただいておりますので、若干、改正をさせていただいて、オンライン会議でも可能とする

様式第1号

旨の改正をして行きたいと考えておりますので、後日、御意見をいただきたいと考えています。

〔議長〕

定期という事で、承りました。よろしいですね。時代の事情によりまして、だいぶ変わっていくと思いますが、改善できる事は、改善しながらやって行きたいと思います。一応、今日は、御慎重な審議をいただきましたけれども、今日、報告されました議題は、全て終わりましたので、事務局にお返しします。御協力いただきまして、ありがとうございました。

7 閉会

〔課長〕

長時間に渡り、ありがとうございました。皆さんから直接、御意見をお聞きする事が、やはり我々の行政の後押しになると考えております。会議での御意見を財政課や、他の部門にも話をして行く土台にしていきたいと思っておりますので、今後とも御協力を賜りまして、2年間の任期をよろしくお願ひしたいと思ひます。

令和 2 年度（2020 年度）
第 1 回つくば市社会教育委員会議
令和元年度事業実績報告

日 時 令和 2 年（2020 年） 8 月 17 日（月）
午後 1 時 30 分から
場 所 つくば市役所 2 階 会議室 202

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	家庭教育支援事業		
予算額	5,313千円	決算額	3,218千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置し、幼稚園や小・中学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を実施する。また、乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級を3か所、幼児家庭教育学級を市内7か所に設け、運営をした。</p> <p>社会教育講演会を開催し、学級の枠を超えた学習機会を設ける。</p> <p>小中学校の就学時健診や入学説明会において、家庭教育セミナーを開催し、家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。</p>	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級（76学級、学級生数12,392人）を開設 参加者数13,588人 ・家庭教育講演会の開催（全2回、参加者数293人） ・13人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に際し 助言・指導を行った。 ・家庭教育セミナーの実施 幼稚園16（324名）、小学校28（1642名）、 中学校12（1521名）、義務教育学校4（942名）参加
今年度の目標	家庭教育学級参加者数：20,500人	目標に対する成果	<p>参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できたほか、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。</p> <p>社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。家庭教育学級参加者数：13,588人</p>
事業の課題	家庭教育学級の運営に際し、助言・指導を行っているが、趣味や交流に偏りがちな講座が見受けられる。	課題への対策	<p>家庭教育学級の柱となる学びの6つの柱を一部変更し、趣味や交流に偏りがちな講座に対しては、社会教育指導員を通じて、助言・指導を行い、大幅な改善が見られた。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	花と緑の環境美化コンクール		
予算額	256 千円	決算額	197 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>市民の環境に対する意識を高めるため、「チャレンジいばらき県民運動」が主催する花と緑の環境美化コンクールの参加団体を学校や地域、職場などから募集し、市から県民運動に花壇を推薦する。</p> <p>○募集期間：6月上旬～7月2日</p>	事業実績	<p>学校の部4団体、地域の部11団体、団体・職場の部4団体、フラワーロードの部2団体、合計21団体の応募があり、市審査の結果、6団体を「チャレンジいばらき県民運動」に推薦した。また、応募団体に対して、花苗や肥料などの購入を助成した。</p> <p>令和元年度実施状況 6月 各団体、学校等による応募開始 7月 市審査の上、6団体を県民会議に推薦※ 8月 県民会議による一次(書類)審査 ※(推薦団体) フラワーロードの部：NP0つくばアーバンガーデニング 歩みの小径花仲間 おもてなし花壇の部：倉掛「四季の花」通り 団体・職場の部：館笠サロン会、浅野物産株式会社 学校の部：つくば市立豊里中学校、つくば市立筑波幼稚園</p>
今年度の目標	<p>応募者数12団体 (参考：平成30年度実績24団体)</p>	目標に対する成果	<p>ウエルカムフラワーの参加団体に対する周知活動の結果、昨年度と同等の応募団体があり、地域活動の活性化を図ることができた。令和元年度応募者数：21団体 (平成30年度応募者数：24団体)</p>
事業の課題	<p>目標を上回る応募があり、特に課題はない。</p>	課題への対策	<p>今後も目標を上回るよう周知する。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	生涯学習施設管理		
予算額	29,723 千円	決算額	29,255 千円
事業概要			
目的・概要	<p>生涯学習社会の実現に寄与するため、つくば市市民研修センター（北条）の指定管理を行う。</p> <p>また、郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として、古民家を有するさくら民家園（中央公園）の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターでは、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施。さくら民家園においては、2～3月にかけてひな飾りを展示する。</p>	事業実績	<p>○市民研修センター</p> <p>4月1日 さくらまつり</p> <p>7月22日 おもしろ理科実験</p> <p>8月10日 コワナツ～怖い話を聞く夏の夕べ～</p> <p>10月21日 利用団体合同発表会</p> <p>その他、健康講座、子育て講座、高齢者講座、趣味講座、伝承継承講座など各種講座を開催。</p> <p>○さくら民家園</p> <p>研修や昔話のお話会、小学校社会科見学などで利用された。</p>
今年度の目標	<p>市民研修センター利用者数 35,000人（昨年度31,615人）</p> <p>さくら民家園利用者数 7,000人（昨年度7,009人）</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベント等を実施</p>	目標に対する成果	<p>（市民研修センター）施設利用者から好評を得ている。従前と同じ法人が指定管理者となっているため、施設の設置目的や特徴を熟知しており、職員等の変更もないことから、これまでと同様の施設運営と利用者サービスを行うことができ、社会教育・生涯学習の拠点として目的を達成することができた。講座、イベント等の実施により利用者の増加を図るとともに、継続的な利用を促進していく。市民研修センター利用者数 32,900人（さくら民家園）建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。</p> <p>業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。さくら民家園利用者数 7,206人</p>
事業の課題	<p>（市民研修センター）施設の老朽化により、修繕箇所が増加している。また、利用料免除による利用の増加により、利用者が増加しても施設の収入に結びつかない状態となっている。</p> <p>（さくら民家園）差茅や葺き替え等の定期的なメンテナンスが必要となるため、今後において中長期的な計画の立案が必</p>	課題への対策	<p>（市民研修センター）施設の修繕は、優先度の高いものから修繕を進め、併せて来年度予算にも必要額を計上した。</p> <p>（さくら民家園）茅葺屋根のメンテナンスとして差茅を行った。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年健全育成事業		
予算額	6,307千円	決算額	5,730千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>○つくば市青少年相談員(74人)が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動(7月～12月実施) ・学校訪問(6月～7月実施) 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動(通年) 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 <p>○青少年の健全育成を展開する団体に対し補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 	事業実績	<p>○青少年相談員の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・声かけ運動(各小中学校、高校)120回 ・学校と相談員の情報交換会を実施(6月～8月) 学校の状況や要望の把握 ・まつりつくばでの啓発活動(8月24日・25日) ・薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・地区巡回パトロール ・「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動 A区分登録店舗数(72店舗) ・広報誌「相談員だより」年2回発行 <p>○補助金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市子ども会育成連合会：4団体 青少年を育てるつくば市民の会：5団体
今年度の目標	あいさつ・声かけ運動実施数：120回	目標に対する成果	あいさつ・声かけ運動を目標としていた120回実施し、あいさつをする児童が増えている。 訪問活動実施店舗について、累計434店舗、うち新規の登録は7店舗で目標達成はできなかったが、青少年健全育成に意識を高めることができた。
事業の課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。	課題への対策	青少年相談員が、青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施したほか、関係機関と連携を図った。

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年体験学習事業		
予算額	2,446千円	決算額	2,132千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>○青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するために事業を推進する。</p> <p>期日：A 7月27日(土)、B 7月30日(火)、C 8月6日(火)</p> <p>対象：つくば市の小学4年生から9年生</p> <p>協力団体：つくば工科高等学校、飯島アクアポニクス、出土文化財管理センター)</p> <p>○青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の実施や、青少年の場所を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の居場所の開設 ・「この指とーまれ！」企画・実施 <p>○子ども体験事業補助金交付</p>	事業実績	<p>○「つくばサイエンスラボ」</p> <p>Aコース・7月27日(土) セミの羽化の観察 37人</p> <p>Bコース・7月30日(火) ロボットの操作体験 72人(午前・午後)</p> <p>Cコース・8月6日(火) 最先端の農業施設の見学と出土土器の管理体験 28人</p> <p>合計参加者数：137人</p> <p>○青少年の居場所事業</p> <p>青少年の居場所利用者数 2,586人、地域ふれあいコンサート実施【竹園高校の吹奏楽部演奏】、竹園高校性と市内中学生の交流会を実施(高校生22人、学生36人)</p> <p>○「この指とーまれ！」事業</p> <p>8月4日(日)キックオフ・説明会を実施、10月27日(日)ドリームフェスタ実施(別紙参照)6企画</p> <p>(百人一首、茶道カフェ、ロープ体験、和太鼓とけん玉、ダンスパフォーマンス、ダンス)</p> <p>○子ども体験事業補助金 21団体(交付件数26件)</p>
今年度の目標	<p>多くの参加者を受け入れられるよう対象者を拡充する。</p> <p>科学技術に造詣が深い市民を講師やボランティアとして活用し、市民協働による生涯学習の推進を図る。</p> <p>中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p>	目標に対する成果	<p>「つくばサイエンスラボ」については、午前・午後のコースに枠を拡大したことで多くの方が体験できた。</p> <p>平成30年度から実施した「この指とーまれ！」事業では、企画者、ボランティア(青少年相談員)の協力を得て、企画を実現させた結果、「人と人がつながり社会をつくる力」の育成ができた。</p>
事業の課題	<p>夏休み期間の事業開催もあり、熱中症対策や雨天時等の対策が必要である。また、多数の応募があり抽選となってしまったので、コース枠を午前・午後に拡げるなどの見直しが必要である。</p>	課題への対策	<p>体験機会を提供するため、安全対策や熱中症対策等を事前確認の上、安全に実施できるよう対策を行った。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	成人の集い開催事業		
予算額	4,806 千円	決算額	4,636 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。 市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会 ○期 日 令和2年(2020年)1月12日(日) ○会 場 つくばカピオ アリーナ ○該 当 者 平成11年(1999年)4月2日～平成12年(2000年)4月1日生まれの方 対象者数 2,720人</p>	事業実績	<p>○期 日 令和2年(2020年)1月12日(日) ○会 場 つくばカピオ ○該 当 者 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方 (11月1日現在の住基台帳データで外国人含む) ○参加者 1,844人 ○式典開始 11時 ○アトラクション YOSAKOIソーラン 斬桐舞 ○式典終了 11時35分</p>
今年度の目標	参加者数：1,500人	目標に対する成果	<p>参加者数：男 906人・女 871人 計 1,777人(昨年 1,727人) 参加率：67.8%(昨年 64.3%) 社会の一員としての自覚と責任感を醸成する機会となった。 警備体制で、つくば中央・北警察署に協力を得て、違法車両対策や会場内外で参加者の安全確保を図ることができ、円滑な式典が実施できた。また、日頃学業などでつくば市を離れている新成人全体の交流の機会を得ることができた。</p>
事業の課題	<p>・式典を円滑に進行すること。 ・成年年齢引下げ後の「つくば市の成人の集い」を実施するに当たって対象年齢等について検討をする。</p>	課題への対策	<p>成年年齢引下げ後のつくば市成人の集いの対象年齢及び名称について、慎重に審議した結果、現行通りの20歳を対象とし、名称については「つくば市二十歳の集い」で実施するよう答申を教育長に提出した。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館	係	管理係、サービス係
事業名	図書館運営に要する事業		
予算額	64,947千円	決算額	63,158千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験 <ul style="list-style-type: none"> 8年生を対象とした事業 ・ジュニア図書館員 <ul style="list-style-type: none"> 4、5、6年生を対象とした事業 ・学校訪問ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> 小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・インターンシップの受入 <ul style="list-style-type: none"> 図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ファーストブック講座 <ul style="list-style-type: none"> 子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・図書リサイクル <ul style="list-style-type: none"> 不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部(年2回) 及び「こどもヨモッカ」7,000部(年2回)の発行 ・ワークショップ「図書館マスターになろう」 <ul style="list-style-type: none"> 図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習のサポート」プログラムに基づくワークショップ <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p>	<p>事業実績</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験(8年生対象)：8校 25人参加(H30年度 7校23人) ・ジュニア図書館員(4,5,6年生対象)：参加者 47名(H30年度 51名) ・学校訪問ブックトーク(4年生、7年生対象)：小学校29校、中学校9校(H30年度 小学校29校、中学校9校) ・ファーストブック講座：※新型コロナウイルス感染症予防のため中止 ・図書リサイクル(不用になった図書を市民に提供する事業)：9,386冊配布(H30年度 10,772冊配布) ※令和元年度から実施方法を変更し、リサイクルコーナーを中央図書館エントランスロビーに常設してリサイクル資料を配布することとした。 ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」8月と3月の年2回、「こどもヨモッカ」7月と12月の年2回発行(H30年度「ヨモッカ」2回「こどもヨモッカ」2回) ・ライブラリー・ピクニック：5月11日、11月2日(筑波大学付属図書館との共催) ・芸術をゲームで遊ぼう：9月23日 ・ぬいぐるみのおとまり会：10月25・26日、12月6・7日 ・World week：10月29日～11月3日 ・世界を知るワークショップ：11月2日(協力：JICA筑波) ・世界のゲームで遊ぼう：11月3日、1月18日 <p>2 図書館協議会(8月開催) ※第2回協議会を3月中に開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催を見送った。</p> <p>3 図書館ボランティア活動(159名登録、9つのボランティアに分かれた活動)</p> <p>4 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p> <p>5 図書館懇話会(開催回数：5回)：これからのつくば市立図書館のあり方について、広く意見を聴くため開催し、令和2年3月に教育長に提言書を提出した。</p> <p>6 つくば市図書館連携協議会 つくば市域に所在する各機関の図書館の情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、連携してその活用を図ることにより、協定館相互の実りある持続可能な発展と充実を資することを目的として「つくば市域図書館連携に関する協定」を締結し、つくば市域図書館連携協議会を設置した。連携事項の円滑な推進を図るため、連携協議会において協議を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定締結日：令和元年(2020年)9月25日 ・連携協定締結図書館：筑波大学附属図書館、つくば市立中央図書館 ・令和元年度連携協議会開催回数：2回 	
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・これからの図書館のあり方についての検討 	<p>目標に対する成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携し、読書推進が図られた。 ・読書推進及び図書館の利用促進が図られた。 ・図書館が実施している各種事業や運営方針などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図れた。 ・図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。 ・市内各所で図書を返却できるようにすることで、利用者の利便性が向上した。 ・学校及び学校図書館と連携した事業を行い、社会教育及び学校図書館の質の向上に寄与した。 ・これからのつくば市立図書館のあり方について、広く意見を聴くため図書館懇話会を開催し、令和2年3月に教育長に提言書が提出された。 	
事業の課題	<p>図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、10月に教育長あてに提言書の提出が予定されている。この提言書の内容をいかに今後の事業に反映させていくか検討が必要となる。</p>	<p>課題への対策</p> <p>図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。市民に愛される図書館としていくため、今後の事業を進めていくに当たり、この提言書の内容を参考にしていく。</p>	

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館	係	管理係
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		
予算額	39,289 千円	決算額	39,106 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所（谷田部・筑波・小野川・荃崎）の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・4交流センター図書室運営業務委託 ・4交流センター図書室図書備品購入 	事業実績	<p>開館日数 289日（谷田部・筑波・小野川は288日） 開館時間 平日9:30～19:00 土・日・一部の祝日9:30～17:00 ※選挙（投票所）のため、7/21小野川休室 ※冷房故障のため、8/4 谷田部臨時休室 ※台風の接近により、10/12 臨時休室（筑波は10/12・13休室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の購入を積極的に行い蔵書数の増に努め、委託職員と連携を密にし、地域図書館サービスの向上に努めた。 ・利用者が急増している谷田部交流センター図書室について、配置人員を1名増員し、サービスの向上を図った。
今年度の目標	<p>中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。</p>	目標に対する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター図書室と連携をとり、図書館サービスの向上に努めた。 ・新刊本の購入を増やし、不用図書の除籍を行い、利用しやすい配架に努めた。 ・地域の特色を生かした図書資料の整備が図れた。
事業の課題	<p>平成27年度からオンライン4交流センター図書室運営業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。</p> <p>また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。</p> <p>令和元年度で1年間の運営業務委託契約期間が終了するので、現在の委託業務について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容も令和2年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。</p>	課題への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書室の蔵書について、地域の特色をいかしながら、新たな図書資料の受入数を増やし、その充実を図った。 ・委託職員との連携を密に図り、サービスの向上に努めた。 ・各図書室の状況把握を行い、受託事業者と随時情報の共有化を図った。

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	文化振興係
事業名	つくば市民文化祭		
予算額	11,330千円	決算額	10,666千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。</p> <p>○開催期間 11月2日(土)～3日(日) ※荃崎会場のみ10月29日(日)～4日(月祝) ※ノバホール音楽会は11月9日(土)、10日(日)開催</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荃崎会場：荃崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】 絵画・書道・華道・俳句・盆栽・手工芸・押し花・写真等 【舞台部門】 民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス 等 【ノバホール音楽会】 声楽・器楽 【その他】 茶会・囲碁・将棋・おはなし会 等 【小中学校芸術展】 市内の公立小中学校の推薦作品の展示</p>	事業実績	<p>○開催期間 令和元年11月2日(土)～3日(日) ※荃崎会場のみ10月29日(火)～4日(月祝) ※ノバホール音楽会は11月9日(土)、10日(日)開催</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館、新町公園 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、ゴントの丘 荃崎会場：荃崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 展示部門：絵画・書道・華道・俳句・盆栽・手工芸・押し花・写真等 芸能部門：民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス等 ノバホール音楽会：声楽・器楽等 その他：茶会・囲碁・将棋・おはなし会等 小中学校芸術展：市内の公立小中学校の推薦作品の展示</p> <p>○来場者数 全会場合計 35,503名</p> <p>○参加者数 全会場合計 358団体(延べ4,856名)</p>
今年度の目標	各会場での体験教室を増やし、20～30代の子育て世帯の参加を促進する。	目標に対する成果	各団体による日頃の成果発表の機会・参加者同士の交流機会を提供することができた。また、「くきざき夢まつり」等地域行事との同時開催により、来場者数は前年度より増加した。
事業の課題	参加者の半数以上が60歳以上の高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。	課題への対策	前年度に引き続き、参加団体の高齢化が課題である。参加受付様式が紙申請のみであるため、インターネットでの申請様式を検討する。

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	地域交流センター講座		
予算額	4,678千円	決算額	4,161千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月と9月に募集する。</p> <p>前期講座は、69講座、定員1,273名で5月に募集し開講中。後期講座は、66講座、定員1,206名で9月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画。土日、夜間の講座も開講。</p> <p>また、つくば市消費生活センターや消防署、中央警察署等との連携による普及促進講座も開講。</p>	事業実績	<p>5月と9月の広報つくばで受講生を募集し、合わせて130講座を実施。内訳は、一般向けが111講座、小中学生向けが2講座、高齢者向けが5講座、親子向けが12講座であった。</p> <p>また、平日昼間の参加が難しい方にも対応し、夜間に5講座、土日祝日に16講座を実施した。</p> <p>筑波、大穂、吉沼、豊里の4交流センターでは、毎年行っている高齢者学級を開催した。延べ1,235人の受講者があった。</p> <p>また、文化芸術課主催で3月に開催予定であった「地域コーディネーター講習会」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。</p>
今年度の目標	<p>受講者数8,000名 (昨年度は131講座実施し、延受講者数7,055名)</p>	目標に対する成果	<p>受講者数7,166人 地域交流センター講座 5,931人 高齢者学級 1,235人 「地域コーディネーター講習会」中止</p>
事業の課題	<p>社会人の方が参加できるように夜間や土日祝日開講の講座について、更に検討する必要がある。</p> <p>また、地域貢献や地域活動へのデビューなど、市民の要望や社会の要請に合わせた現代的な課題をテーマとした講座の充実など、メニューの見直しも必要である。</p>	課題への対策	<p>サークル団体による地域交流センターの施設利用の増加等に伴い、「受講者数」を指標とした目標の達成は困難となっている。市民の要望や社会の要請に合わせた現代的な課題をテーマとした講座など、内容や質を指標とした目標への見直しを検討していく。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理		
予算額	62,944千円	決算額	62,814千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、指定管理者制度によるつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。</p> <p>また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。</p>	事業実績	<p>○利用者数（フィットネスプール、多目的ホール、研修室、会議室、視聴覚室、軽運動室、調理実習室、市民活動室、保育室、展示コーナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総利用者数 62,753人 ・うち免除者数 30,270人（免除率 48.24%） <p>○自主事業（講座・セミナー等）</p> <p>◇講座開講実績（通年：プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術、親子、文化、伝承その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数 620講座 ・開講数 1,680回 ・参加者総数 10,948人 <p>◇イベント実績</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント数 10回 参加者総数 2,818人 <p>○アンケートの実施状況（利用者の満足度、苦情等）</p> <p>回答数 737件</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇管理は行きいているか：満足80.1%、普通17.9%、不満2.1% ◇利用しやすいか：満足79.4%、普通18.9%、不満1.7% ◇職員の対応：満足80.0%、普通18.4%、不満1.6% ◇講座の満足度：満足87.3%、普通12.1%、不満0.7%
今年度の目標	ふれあいプラザ利用者数 75,000人（昨年度70,003人） 令和元年度は約600講座を開講予定	目標に対する成果	新型コロナウイルス感染症の影響で2,3月の利用が自粛され、前年度よりも利用者数が減少した。講座は、前年度とほぼ同じ数であるが、新しい講座の開設を行った。引き続き、市民が利用しやすい施設運営に努める。
事業の課題	築後10年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えている。 また、利用料免除による利用の増加により、利用者が増加しても施設の収入に結びつかない状態となっている。	課題への対策	現場からの報告により、適宜、修繕を行った。 収入に結びつくよう幅広い年齢層の利用の促進を図った。

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ振興係
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員		
予算額	7,198千円	決算額	6,469千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行う等、つくば市のスポーツ振興に寄与する。 市主催事業(つくば学園ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、つくば健康マラソン等)において係員として協力する。 県南スポーツ推進委員協議会研修会、関東スポーツ推進委員協議会研究大会等に参加する。 <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について、報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。 	事業実績	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ事業協力 つくば学園ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン大会、つくば健康マラソン大会(延べ168名参加) 研修参加 市スポーツ推進委員研修会、県南スポーツ推進委員協議会研修会、関東スポーツ推進委員研究大会(延べ77名参加) 会議等参加(延べ67名参加) <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月7日 第1回:スポーツ推進計画進行管理 10月30日 第2回:スポーツ推進計画進行管理
今年度の目標	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>市が開催するイベント等において、協力や参加をするスポーツ推進委員数:延べ300名</p> <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <p>スポーツ推進審議会開催数:2回</p>	目標に対する成果	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>市が主催する大会・イベント等への協力により円滑な大会運営に貢献した。また、県南スポーツ推進委員協議会研修会及び関東スポーツ推進委員研究大会参加し、つくば市のスポーツ振興に貢献した。(延べ312名)</p> <p>(スポーツ推進審議会)</p> <p>2回の審議会を開催し、審議会委員による提言・助言をスポーツ推進に関する各種施策に反映することができた。</p>
事業の課題	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。</p>	課題への対策	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>スポーツ推進委員の資質向上や活動の推進を図るため、市主催研修を実施した。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツレクリエーション係
事業名	スポーツ大会開催		
予算額	25,002 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円	決算額	23,304 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(つくばマラソン) 市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 つくば市、筑波大学、(一財)茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。 その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>	事業実績	<p>(つくばマラソン) 42.195kmの部、10kmの部を開催。(日本陸連公認コース) <申込人数> 42.195km=15,327人 10km=2,785人 合計=18,112人 <出走者(出走率)> 42.195km=12,353人(80.6%) 10km=2,009人(72.1%) 合計=79.3人</p> <p>(健康マラソン) 申込人数=1,930名1,503組 出走者=1,708名1,309組 (ウォークラリー) 申込人数=539名154組 参加人数=403名121組 (スポーツフェスティバル) 参加人数=805人</p>
今年度の目標	<p>(つくばマラソン) 「マラソンを科学する」というコンセプトを掲げ、スタートや給食を「科学する」ことで記録や完走率を向上させる。また、応援団体への直接依頼等により、沿道応援の活性化を図る。</p> <p>(健康マラソン) 市長公約「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環とし、気軽に参加できる大会にするために、ランニングクリニックや教室を充実させる。</p>	目標に対する成果	<p>(つくばマラソン) 「レース戦略を科学する」という取り組みを新たに始めた。参加者のビックデータから、ペース配分がマラソンの経験、年齢、性別等とどのような関係があるか解析した。 「スタートを科学する」では、例年行っている「ウェーブスタート」において、先頭ブロックを2つに細分化し、スタート時の混雑を緩和した。</p> <p>(健康マラソン) 今大会から新たに、60歳以上男子、女子の1位～3位の表彰を行った。(例年は、各種目男女別の1位～6位のみ。)また、スーパースポーツゼビオと協力してランニングクリニックを、第一生命と協力してランニング教室を開催した。</p>
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 実行委員会等で指摘されている収容関門の安全性について、収容車両や交通規制等の運営方法を修正する必要がある。</p> <p>(健康マラソン) 事前イベントのランニングクリニックについて、定員を大幅に超える申し込みがあるため、開催方法等を検討し、より多くの方が参加できる環境を整える。</p>	課題への対策	<p>(つくばマラソン) 収容関門の閉鎖時間や交通規制終了時間、収容関門における車両の運営方法を見直し、より安全な大会運営を行った。</p> <p>(健康マラソン) ランニングクリニックは、ファミリーの部に申し込んだ親子を対象に、ランニング教室は、昨年と同様小学3～6年生を対象に行った。</p>

令和元年度(2019年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツレクリエーション係
事業名	スポーツ教室開催		
予算額	6,544 千円	決算額	2,008 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(目的) スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。</p> <p>(概要) 市民を対象に、市報・つくば市HP・facebook等で募集を行い教室を開催する。</p>	事業実績	<p>【参加者延べ人数】</p> <p>・体幹トレーニング①192名②194名・ウエイトトレーニング35名・スポーツ鬼ごっこ35名・トレイルラン123名・ストリートダンス68名・アーチェリー41名・ラート(子ども)9名・ランニング103名・リズムトレーニング36名・バレーボール60名</p> <p>上記の教室を開催し、市民のスポーツ振興に努めた。</p>
今年度の目標	<p>様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。</p> <p>・開催時期と教室名</p> <p>【5～6月】体幹トレーニング①</p> <p>【6月】トレイルラン、ウエイトトレーニング、ストリートダンス、スポーツ鬼ごっこ</p> <p>【7月】アーチェリー</p> <p>【8月】ラート(子ども)</p> <p>【9～10月】ランニング</p> <p>【10～11月】リズムトレーニング、バレーボール</p> <p>【1～2月】体幹トレーニング②、</p> <p>【3月】ラート(大人)、車いすバスケ教室、子どものスキー</p>	目標に対する成果	<p>計画していた12種類のうち10種類の教室を実施した。また、体幹トレーニング教室を2回開催するなど、より多くの市民にスポーツを始めるきっかけを提供し、教室参加者同士の交流を図った。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、3月に予定していた2種類の教室(ラート(大人)、子どものスキー)のほか、障害者スポーツ普及に向けた「車いすバスケ」教室は、中止となった。</p>
事業の課題	<p>参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。</p>	課題への対策	<p>新たな教室として、「リズムトレーニング」教室を公募により決定した。また、「体幹トレーニング教室」を2回開催し、より多くの市民が参加できる場を提供した。</p>

令和 2 年度（2020 年度）
第 1 回つくば市社会教育委員会議
令和 2 年度主要事業の概要

日 時 令和 2 年（2020 年） 8 月 17 日（月）
午後 1 時 30 分から
場 所 つくば市役所 2 階 会議室 202

令和 2 年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	家庭教育支援事業		
予算額	5,083 千円		
目的・概要	<p>家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置し、幼稚園や小・中学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を実施する。</p> <p>乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級を市内 3 か所、幼児家庭教育学級を 4 か所計画し、保育所における社会教育講座を 5 か所で開催する。社会教育講演会を開催し、学級の枠を超えた学習機会を設ける。</p> <p>なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限するが、オンラインや動画配信も実施する。</p> <p>小・中学校の就学時健診や入学説明会において家庭教育セミナーを開催し、家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。</p>		
今年度の目標	家庭教育学級参加者数：20,500人		
事業の課題	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から、家庭教育の開級が遅れており、3密を避けた学級運営が難しい。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	花と緑の環境美化コンクール		
予算額	210 千円		
目的・概要	<p>市民の環境に対する意識を高めるため、「チャレンジいばらき県民運動」の主催する花と緑の環境美化コンクール参加団体を学校、地域、職場などから募集し、市から県民運動に花壇を推薦する。</p> <p>○募集期間：6月22日～7月21日</p>		
今年度の目標	<p>応募者数14団体 （参考：令和元年度実績 21団体）</p>		
事業の課題	<p>審査期間が短いため、締切前に写真撮影などの審査準備を進めておくことが望ましいが、締切前日に応募が集中する傾向があり、事前準備が難しい。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	生涯学習施設管理		
予算額	29,046 千円		
目的・概要	<p>生涯学習社会の実現に寄与するためつくば市市民研修センター（北条）の指定管理を行う。また、郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として、古民家を有するさくら民家園（中央公園）の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施。さくら民家園においては、2～3月にかけてひな飾りを展示する。</p>		
今年度の目標	<p>市民研修センター利用者数 35,000人（昨年度32,900人） さくら民家園利用者数 7,000人（昨年度7,206人）</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベント等を実施</p>		
事業の課題	<p>非常事態宣言発令後、各施設とも閉鎖していた影響もあり、利用者数増加は厳しい状況である。施設ごとの利用ガイドラインを作成し、安全に利用してもらうことが最優先になる。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年育成事業		
予算額	5,419 千円		
目的・概要	<p>1 つくば市青少年相談員（59人）が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。</p> <p>（1）声かけ・相談等の青少年支援 （2）青少年に関する機関との連携 （3）普及啓発活動及び社会環境健全化活動に関すること （4）その他青少年健全育成に資する活動</p> <p>2 青少年の健全育成を展開する団体に対し補助金を交付する。</p> <p>（1）つくば市子ども会育成連合会 （2）青少年を育てるつくば市民の会</p>		
今年度の目標	<p>あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。</p>		
事業の課題	<p>青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年体験学習事業		
予算額	3,360 千円		
目的・概要	<p>2020青少年体験学習事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者が安心して参加できるよう運営する。つくば市に在住する小・中学生（4年生～9年生）を対象にして募集する。目的は、つくば市の地域資源を活用し、豊富な自然環境を体感することで自然や歴史の興味や関心を高めるものとする。なお、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施や青少年の居場所を提供する。</p> <p>1 青少年体験学習事業 期日：Aコース 7月24日(金) 夜の観察教室 地中にあるセミを探そう Bコース 8月1日(土) 午前・午後 小田城跡を見学&勾玉づくり体験！ 対象：つくば市の4年生から9年生まで各12人 協力団体等：日本蝶類学会元会長、つくば市文化財専門員</p> <p>2 この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現たいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み社会力の育成につなげる。</p> <p>3 青少年の居場所事業 青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施や青少年の居場所を提供する。青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の支援を行う。</p> <p>4 つくば市子ども体験事業補助金</p>		
今年度の目標	<p style="text-align: center;">実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策し、青少年体験活動が安全に実施できるよう努める。</p>		
事業の課題	<p style="text-align: center;">青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	つくば市成人の集い事業		
予算額	5,043 千円		
目的・概要	<p>次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>1 主催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会</p> <p>2 期日 令和3年（2021年）1月10日（日）</p> <p>3 会場 つくばカピオ アリーナ及びホール</p> <p>4 該当者 平成12年（2000年）4月2日 ～平成13年（2001年）4月1日生まれの方</p> <p>5 対象者 約3,000人</p>		
今年度の目標	参加者数：1,500人		
事業の課題	<p>新型コロナウイルスの対策として、国、県、近隣市町村の動向を注視し、「新たな生活様式」を参照し、施設のガイドラインに基づき、参加者に対して社会的距離の確保、保健衛生対策の徹底（消毒液の設置やマスク着用、入場時体温・体調チェック等）、共有物の衛生管理・換気の徹底（座席の消毒、会場のドア扉を開け換気等）に取り組み回数を分けるなどして成人の集いを開催する。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	中央図書館	係	管理係 サービス係
事業名	図書館運営に要する事業		
予算額	44,237 千円		
目的・概要	<p>図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験 <ul style="list-style-type: none"> 8年生を対象とした事業 ・ ジュニア図書館員 <ul style="list-style-type: none"> 4、5、6年生を対象とした事業 ・ 学校訪問ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> 小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・ インターンシップの受入 <ul style="list-style-type: none"> 図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ ファーストブック講座 <ul style="list-style-type: none"> 子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・ 図書リサイクル <ul style="list-style-type: none"> 不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・ 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部（年2回）及び「こどもヨモッカ」7,000部（年2回）の発行 ・ ワークショップ「図書館マスターになろう」 <ul style="list-style-type: none"> 図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習のサポート」プログラムに基づくワークショップ <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p>		
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問ブックトーク事業の推進 ・ 読書推進事業の実施 ・ 図書館事業の積極的なPR ・ 自動車図書館運行事業の充実 ・ 図書返却事業の充実 ・ 学校図書館支援事業の推進 ・ これからの図書館のあり方についての検討 		
事業の課題	<p>図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言書の内容について検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	中央図書館	係	管理係
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		
予算額	40,397 千円		
目的・概要	<p>オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所（谷田部・筑波・小野川・荃崎）の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・ 4 交流センター図書室運営業務委託 ・ 4 交流センター図書室図書備品購入 		
今年度の目標	<p>中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。</p>		
事業の課題	<p>平成27年度からオンライン4交流センター図書室運営業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。</p> <p>また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分の方法が課題となる。</p> <p>令和2年度で1年間の運営業務委託契約期間が終了するので、現在の委託業務について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、令和3年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。</p> <p>また、運営業務に必要な人材（司書有資格者）についても、継続して確保していくための検討が必要となる。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	文化振興係
事業名	つくば市民文化祭		
予算額	11,757 千円		
目的・概要	<p>【新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、6/26に開催中止が決定。代替事業としてSNSを活用したインターネット上での作品発表の機会の提供を実施する】</p> <p>文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。</p> <p>○開催期間 11月7日（土）～8日（日） ※ノバホール音楽会は11月8日（日）、14日（土） ※荃崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荃崎会場：荃崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】お茶会・囲碁・将棋・そば打ちなど 【ノバホール音楽会】声楽・器楽 【小中学校芸術展】市内の公立小中学校の推薦作品の展示</p>		
今年度の目標	三密を避けた開催様式を検討する。		
事業の課題	参加者の半数以上が60歳以上の高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	地域交流センター講座		
予算額	6,751 千円		
目的・概要	<p>市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、10月（後期講座）に受講生を募集する。</p> <p>例年、年2回（前期・後期）の講座を実施しているが、5月に予定していた前期講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。後期講座は、47講座、定員808名で10月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子向けなど幅広い利用者層向けのを企画し、土日、夜間の講座も開講する。</p> <p>また、つくば市消費生活センターや消防署などとの連携による普及促進講座も開講する。</p>		
今年度の目標	<p>延受講者数：800名 （新型コロナウイルス感染症対策のため定員を減らして開講） （昨年度は130講座実施し、延受講者数5,931名）</p>		
事業の課題	<p>前期講座で開催予定だった講座のうち、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、後期も開催を見送った講座がいくつか発生した。アンケートにより利用者の多様なニーズを把握しつつ、安全性と講座内容の充実の両立を図っていく必要がある。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	生涯学習施設(ふれあいプラザ)管理		
予算額	61,356 千円		
目的・概要	<p>豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。</p> <p>また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。</p>		
今年度の目標	<p>ふれあいプラザ利用者数 30,000人（昨年度62,753人） （新型コロナウイルス感染症対策のための定員減） 令和2年度は約600講座を開講予定</p>		
事業の課題	<p>建築後10年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えている。</p> <p>また、利用料免除による利用の増加により、利用者が増加しても施設の収入に結びつかない状態となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、収入に結びつくよう、講座の内容の見直し等、幅広い年齢層の利用の促進を図っていく必要がある。</p>		

令和 2 年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ推進係
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員		
予算額	8,333 千円		
目的・概要	<p>（スポーツ推進委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行う等、つくば市のスポーツ振興に寄与する。 ・市主催事業（つくば学園ウオークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、つくば健康マラソン等）において係員として協力する。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会、関東スポーツ推進委員協議会研究大会等に参加する。 <p>（スポーツ推進審議会委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について、報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。 		
今年度の目標	<p>（スポーツ推進委員）</p> <p>市が開催するイベント等において、協力や参加をするスポーツ推進委員数：300名</p> <p>（スポーツ推進審議会委員）</p> <p>スポーツ推進審議会開催数：1回</p>		
事業の課題	<p>（スポーツ推進委員）</p> <p>スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ大会開催		
予算額	17,625 千円 (内つくばマラソン負担金11,040)		
目的・概要	<p>(つくばマラソン) 市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>		
今年度の目標	<p>(つくばマラソン、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、来年度の開催に向けて、感染症対策を踏まえた事業の検討を行っていく。</p> <p>(健康マラソン) 市長公約「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環とし、気軽に参加できる大会にするために、ランニングクリニックや教室を充実させる。</p>		
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 雨天時においてもスムーズに開催できるように、会場の見直しや当日の参加者の動きに応じたレイアウトの変更等が必要である。</p> <p>(健康マラソン) 事前イベントのランニングクリニックについて、定員を大幅に超える申し込みがあるため、開催方法等を検討し、より多くの方が参加できる環境を整える。</p>		

令和2年度（2020年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ教室開催		
予算額	6,402 千円		
目的・概要	<p>（目的） スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。</p> <p>（概要） 市民を対象に、市報・つくば市HP・facebook等で募集を行い教室を開催する。</p>		
今年度の目標	新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。		
事業の課題	参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。		

会 議 録

会議の名称		令和2年度（2020年度）第2回つくば市社会教育委員会議			
日 時		令和3年（2021年）3月24日（水）13:30～14:30			
場 所		つくば市役所コミュニティ棟1階会議室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委 員	上田孝典 坪 文雄 伊藤達也 石黒澄子 高田正澄 布浦万代 中山正巳 飯岡宏之 金井恵美 長橋進也 稲葉房子 皆川幸枝 谷村安子			
	事務局	教育局 森田教育長 (生涯学習推進課) 大久保課長補佐 福田係長 色川係長 風巻主査 渡邊主査（社会教育主事） 尾野主事			
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 2人
非公開の場合はその理由					
議 題		(1) 令和3年つくば市成人の集いについて (2) 第3次つくば市生涯学習推進基本計画の策定状況について			
会議録署名人				確定年月日	平成 年 月 日
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付式 3 挨拶 4 議事 5 その他 6 閉会				

様式第 1 号

1 開会

2 委嘱状交付式

令和 3 年（2021 年）2 月 1 日から皆川幸枝氏が社会教育委員へ就任

3 挨拶

4 議事

〔司会（生涯学習推進課長補佐）〕

つくば市社会教育委員会の運営規則第 7 条の規定により、「会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない」と定められております。本日の社会教育委員の出席状況について事務局から報告させていただきます。

〔社会教育係長〕

御報告いたします。本日の出席委員は 13 名でございます。全委員数は 16 名です。委員の過半数が出席しておりますことを御報告いたします。

〔〔司会（生涯学習推進課長補佐）〕〕

過半数の出席が確認されましたので、会議の成立を宣言いたします。

それでは、つくば市社会教育委員会議運営規則第 4 条第 1 項の規定により、議長は会議を主宰するとありますので、議事進行は、議長からお願いいたします。

〔議長〕

それでは、早速、議事に入りたいと思います。議事の第 1 番目の（1）令和 3 年つくば市成人の集いについてを議題といたします。まず、生涯学習推進課の青少年教育係から御説明をお願いいたします。

〔青少年教育係長〕

資料 No. 1 を御覧ください。令和 3 年つくば市成人の集いについての事業の概要としましては、次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催するために、新型コロナウイルス感染対策を含めまして、市内中学校からの推薦によります実行委員会を組織いたしまして、企画・運営などを主体的に取り組んで、

様式第 1 号

推し進めていこうということで計画をいたしました。式典の期日ですが、概要にあります令和 3 年（2021 年）1 月 10 日（日）に実施をしようということで、企画を進めてまいりました。通常ですと、1 回で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の対策を鑑みまして、午前の部・午後の部とで、つくばカピオのアリーナとホールの場所をお借りしまして、2 回に分けて実施するということが、計画を進めてまいりました。また、対象者についても、平成 12 年 4 月 2 日生まれから平成 13 年 4 月 1 日生まれまでの方を対象に、2,720 人を対象に開催しようということで、図ってまいりました。こうしたことを含めまして、令和 2 年度は、感染防止対策を行い、分散開催について努めまして、実行委員の皆様と会議を開催するに当たり、実行委員の推薦を市内中学校長宛てに依頼をいたしました。新型コロナウイルス感染防止の観点より、各中学校 2 名まで少人数で依頼しようということで決めさせていただきまして、実行委員会を 8 月 8 日に開催いたしました。こちらの感染防止対策を含めまして、つくばカピオで分散するということの方針について協議をいたしまして、決定いたしました。実行委員で協議をして諮ったところ、賛同いただき、実際に、どういったことを行っていこうかということをも 1 月 10 日の成人の集いに向けて決めていく形となりました。近隣の自治体調査や、また、全国的な動向を鑑みて、聞き取りをしまして、実際に進めてきたところでございます。

そうした中で、11 月 27 日付けで、つくば市が「感染拡大市町村」と位置付けられまして、12 月 3 日までの 16 日間の不要不急の外出自粛及び営業時間の短縮要請を受け、どういった気持ちなのか率直な意見を聞きたいということで、実行委員にアンケートを取りました。結果、14 人から回答を得まして、「11 人が実施して欲しい。2 人が延期を望む。そして、1 人が実施すべきではない。」という結果でした。アンケートの結果を踏まえまして、感染防止対策を進めながら、成人の集いを計画し、12 月 17 日に成人の集いの入場券付きの案内状を配布する

様式第 1 号

ということで決めまして、発送いたしました。プレスリリースが別紙 1 の資料「成人の集いの入場券発送お知らせプレスリリース」で、記者会見を行い、お知らせをしました。そして、感染対策のガイドラインも作成しまして、実行委員と LINE で状況を周知しつつ、運営実施に向けて進めてまいりました。

また、12月18日には、交通規制のチラシをつくばカピオ周辺のマンションへポスティングを行いました。そして、12月19日に「感染拡大市町村」の解除がされましたので、実行委員会会議を開催いたしまして、委員長、午前と午後の副委員長様2人と副委員長を含めまして、1月10日のリハーサルを行いました。同時に、実施しようという意思で進めてきたところでもございました。最終的な判断を1月4日に、皆様に、実行委員様を含めましてお知らせしますということで、年末を迎えました。

1月4日の年明けでも、状況が良くなりならず、さらに一層新型コロナウイルス感染者が増えているという状況でしたので、つくば市としても、つくば市の成人の集いを実施したいと考えていましたが、感染の拡大が広まりつつ、医療体制も逼迫し、また、国において年明けに一都三県を対象とする緊急事態宣言が発令されて、つくば市内においても、何とか新型コロナウイルスの感染は踏みとどまっておりましたが、そのような中で、成人の集いを実施した場合は、感染が拡大している地域から多くの帰省が想定されることや、参加者や家族等への感染や医療体制のさらなる逼迫に繋がる恐れがあるということで、新型コロナウイルスの終息の目途が立たないのではないかということで、実行委員と協議をしまして、延期ではなく中止ということで、決断に至りました。1月4日の中止のお知らせということで、別紙2の資料でプレスリリースもさせていただきました。中止となりましたが、実行委員の皆様とせっかくここまで進めてきたので、式典の動画は配信したいということで、副委員長の司会進行、実行委員長さんの挨拶、市長から新成人に贈る言葉、アトラクション和太鼓グループSAI様から構成する動

画の配信を行い、今年の 3 月末日まで YouTube でつくば市のホームページから配信をした取組みを行っているところでございます。中止となり、これまでにない事態が起きましたので、1 月 18 日の別紙 3 にあります「つくば市特別成人祝い金の支給のお知らせ」にて成人の集いは中止になりましたが、一生に 1 度のお祝いということで、式典の代わりにお祝いしようということで、特別成人祝金を 1 人 1 万円支給することを決めまして、申請期限を 2 月 28 日、消印有効ということで行ったところでございます。こういった一連の流れを事業実績として、記載させていただきました。

今回の成人の集いですが、初めての中止だったので、実行委員の皆様の御意見を聞きながら、慎重に会議を重ねて進めてまいりました。他県では、成人の集いを実施してクラスターが発生したという話もありましたので、その当時の成人の方は実施できませんでしたが、精一杯代替りのものとして、つくば市から実施いたしました。

また、目標に対する課題には、実施できる目標で掲げていましたが、過去に例のない新型コロナウイルス感染症の拡大により中止に至りましたが、こうした式典の動画を実行委員と作りまして、皆さんに動画配信をして、お祝いをさせてもらおう、また、一生に 1 度の式典の代わりに 1 人 1 万円ですが、特別成人祝金を支給することができたということで、成果として上げさせていただきました。

また、来年の課題の対策としましては、今回、中止になりましたので、令和 4 年は、実行委員と会議を行いまして、開催に向けて感染症対策を考慮して、実施に向けて計画を立てるとということで、今、計画しているところでございます。

〔議長〕

ありがとうございました。只今の議題について、御説明がありましたけれども、委員の皆さんから何か御意見や御質問はございますか。委員、どうぞ。

〔委員〕

様式第1号

御説明ありがとうございました。感染対策を考えれば、来年はどうでしょうか。例えば、2回に分けるものを4回とか、5回とかに分ける可能性はありますか。

〔青少年教育係長〕

今の段階は、会場を抑えまして、2日間に分けて行おうという計画を立てております。さらに、回数を増やして、2日間に分けまして、午前・午後、4回に分けてどうだろうというところで、計画しているところでございます。

〔委員〕

子どもたちとかの意見を聞きますと、会って交流を深めたりすることをすごく大事にしているというのが分かりましたので、できるだけそういった工夫していただいて、そのコミュニケーションが図れる、繋がりを持てるような仕組みを今後とも検討していただけたら良いと思います。

〔青少年教育係長〕

ありがとうございます。

〔議長〕

他にどうぞ。委員、どうぞ。

〔委員〕

やむを得ない措置だったと思っております。よくやってくれたと思ってます。別な件ですが、教育長に諮問をする会議をやりましたよね。その時にどんな名称にするかという時に、私の勘違いかもしれないですが、二十歳の集いで諮問したような気がするのですが、いつから二十歳の集いの名称とするのか、それなりの法令がきちんとできてからのことなのか、あるいは、いつの間にか成人の集いになってしまったのかというところを聞かせてください。

〔青少年教育係長〕

令和2年8月24日付けでプレスリリースをさせていただきまして、社会教育委員会に諮問し、審議を図って答申いただき、民法の一部を改正するというこ

様式第1号

とで、法律によって、令和4年（2022年）4月1日より民法の定める成人年齢が20歳から18歳に引き下げられます。実際の成人の集いで言いますと、2年後の令和5年1月より「つくば市二十歳の集い」ということで、名称を決定させていただきました。対象年齢は20歳とするということで、「つくば市二十歳の集い」として行いましょうということで、決まったところでございます。

〔議長〕

前回の社会教育委員会議で決めたとおりのことになりますね。他にございますか。委員、どうぞ。

〔委員〕

新型コロナウイルス感染症のイレギュラーな状況の中で、こうして成人の集いの開催につきまして、いろいろと御尽力いただきましたことが大変よく分かりました。御質問させてください。3点ですね。1点目は、この成人の集い自体を開く、開かないということも重要ですが、それを担っていく実行委員の方達の役割というのも大きいですし、実際に実行委員会を務めた方達も成人としての意識を高めていくという意味では、非常に実行委員会の組織は大事だと思うのですが、この実行委員会について少し御紹介いただきたいということが1点目です。

それから、2点目ですけれども、中止ということは私自身も知ってはいたのですが、この動画の配信については、今初めて知りました。このプレスリリースなどを見ても、中止ということは分かるのですが、動画を配信するとか、こういった内容で、これまでの取組みについて成人の方達と一緒に共有したいという思いがどういう形で、市民あるいはその二十歳の対象の方達に周知されたのかということをお少し御説明いただきたいというのが2点目です。

それから、3点目ですけれども、特別成人祝金ということで、1万円を成人の方達に支給したということですが、このプレスリリースを見ると、その対象者はつくば市在住となっている気がするのですが、進学や就職等で市外に住んでいる

方、つくば市で生まれ育ってはいいても、つくば市にずっと在住している訳ではないですよ。そういう方達は、特別成人祝金の支給というのは、受けられるのか受けられないのか、あるいはこの特別給付金は国もやっていますけれども、お金を配るのは、もらう側としては一番嬉しいことですが、やる側としては事務作業ばかりで、政策としては、個人的な意見から言わせていただくと非常に意味のない政策かなと思うのですが、例えば予算額も 500 万円の予算であったものが、対象者すべてということになれば 2,780 万円ほどの費用がかかっている訳ですし、その金額があるのであれば、何か他の形で還元をしていくことについて、実行委員会あるいは事務局等で、どのような検討がされたのかということについて教えていただければと思います。

〔青少年教育係長〕

3 点御質問いただいた、まず 1 点目の実行委員さんの紹介についてですが、つくば市内の各中学校、茗溪学園と県立並木中等も入れまして、17 校の学校長宛てに御依頼をさせていただきました。6 月中旬に、今回、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点ということで、少人数で実行委員は形成したいということも含めまして、学校長宛てに依頼をしました。なるべく早めに、実行委員の体制を決めたいというところもありましたので、6 月 30 日までに学校長宛てに報告をいただきたいこともあり、通知を出しましたところ、茗溪学園は御都合によりいただくことができないということでありましたので、茗溪学園を除きました学校から男女問わず各 2 名の実行委員の推薦をいただきまして、32 名で実行委員を形成させていただき、計画を一緒に立ててきました。

2 点目の動画の配信についてですが、周知についてというところで、こちら動画については、実際に中止に至ったときに、動画を配信したいということで、アンケートもとったところ、「感染拡大市町村」ということで、11 月 27 日付けで位置付けられ、実際できるかどうかという不安もあったのですが、実施しようと

ということで、練習してきたところで、どういった動画を作っていこうかということで、実行委員長の誓いの言葉と副委員長の司会進行の方々に参加が可能な方はお願いしようということで、実行委員長を通してまとめていただき、形として、動画の公開に至った訳です。の動画の公開に当たりましては、プレスリリースの他に市長からSNSや、市長のFacebookでも御紹介し、また、3月号の広報つくばにも掲載して周知は図りました。

また、3点目の祝金についてということですが、確かに金額的に多額なものになってしまうのですが、実行委員とこれまでやり取りをしまして、実行委員の本当に最後まで開催したいという思いを強く感じまして、そういった思いを受けて、つくば市で決定いたしました。

また、県内の他市町村でも、「他市町村では、2万円支給もある」など、祝金を支給するという話を新聞等で周知されていまして、他市町村では、総合的に勘案した結果、1万円ということで決めて、支給をしたところでございます。

〔議長〕

よろしいですか。

〔委員〕

1点だけ補足で説明をお願いしたいのですが、実行委員会が具体的にどのようなことをしているのかということですね。プログラムのどういったことを決めたり、話し合いをしたりというようなことを少し教えていただければと思います。

〔青少年教育係長〕

司会進行表というものがあまして、ある程度のたたき台を作り、提案しまして、そこに、実行委員が、自分の言葉を入れて進行表を作っていくという形にしております。実行委員さんの希望に沿ったものに成人式は作っていきたくないので、そこに自分の思いや今の新型コロナウイルスの中での動画で配信する思いを込めて練習を重ねながら、進行表を作り上げました。今の動画を見ていただきます

と、思いが伝わっているのではないのでしょうか、というところでございます。そういった組織になっております。

〔委員〕

ありがとうございます。実行委員の方達が成人の集いが何のためにやるのかということを常に考えながら議論できるような場になれば良いと思いました。

〔議長〕

よろしいですか。他にございますか。委員、お願いします。

〔委員〕

特別成人祝金の実際に申請された方は何名だったのでしょうか。それから、動画の配信については、YouTubeであれば、見られた方がクリックするかどうかは別にして、基本的にはそれでどのくらいの方が見られたかということが推測できると思います。その数字はお持ちですか。

〔青少年教育係長〕

午前中の10時頃確認しましたところ、午前の部が908回、午後の部が604回で視聴されている状況でございます。

〔委員〕

当然、実行委員会にも連絡をされて、配信のことは伝えておられるということですが、今の数字を聞くと、若干少ないかなということが気になりました。実行委員会のメンバーもその成人の集いということをどれだけ自分事として、受けとめられているのかというのは、今後の課題かもしれません。

〔青少年教育係長〕

ありがとうございます。

〔議長〕

よろしいですか。後でまた報告するというので。他にございますか。

〔青少年教育係長〕

様式第1号

祝金の申請は、2,454名から申請が上がっております。

〔議長〕

他にございますか。委員ですね。

〔委員〕

大分苦しい思いをして、いろいろなことを決めていかれたと思うのですが、保護者として、動向を見ていた時に、1月4日に中止っていうのは、結構、ぎりぎりで、混乱が起きたのではないかなということで心配していたのですが、今日の報告を聞きまして、実行委員とも密に連絡を取って、やりとりしたということで、その辺りは、かなり混乱を避けられているのかなという気がすごくしました。実情をちょっと聞いてみたのですけれども、中学校ごとに集まっての写真撮影や、そういったことをやっていたようです。子どもたちとしては、成人の集いが開かれなかったことが、残念だというよりは、仕方がないという思いで、それなりに子どもたちの考えで、この成人式というか、こういう祝い事をやってきたのかなという気はしています。

来年度の話ですけれども、分散開催ということで、検討されているということですが、時間を共有するという、この式典の意味合いもあるかと思うので、同時開催で、場所を分散して開催するということは、どうでしょうか。なかなか難しいのでしょうか。そういったことも、もし可能でしたら検討していただけるとありがたいなと思います。

〔議長〕

御意見という形でよろしいですか。審議会でも検討されているということですから、御意見としてお含みおきいただいて、慎重審議をいただきたいと思います。他にございますか。それでは、御意見や御質問がないようでございますので、次の議題に移らせていただきます。

2番目の第3次つくば市生涯学習推進基本計画の策定についてを議題といたし

ます。生涯学習推進係より御説明願います。

〔生涯学習推進課係〕

お手元の封筒に入っております資料の第3次つくば市生涯学習基本計画の概要版と本編ということで、2冊お配りさせていただきました。基本的に、この概要版がある程度まとまった形で載っておりますので、そちらを見ていただきながら話を進めさせていただければと思います。

まず、策定までの経緯について簡単に説明させていただきます。つくば市では、平成5年につくば市生涯学習大綱を策定して以来、生涯学習に関する基本計画の策定を続けておりました。各種事業に取り組みました。現在は、第2次つくば市生涯学習推進基本計画で、2016年度から2020年度までの期間、各種施策を進めてまいりました。こちらの計画、基本理念が「生涯学習でつなぐ つむぐ つくば」というフレーズになっております。施策の大きなポイントとしましては、ライフステージに応じた学習機会の提供や、その他、5つの重点施策を設定しまして実施しました。こちらの成果としましては、青少年体験学習事業の充実を図ることができたほか、家庭教育学級の再編ということで、今まで乳幼児家庭教育学級という形で11か月ぐらいのお子様から3歳の幼稚園に上がるぐらいのお子様の保護者を対象としていた講座をより年齢別、ターゲット別に細分化するという観点から乳児家庭教育学級、幼児家庭教育学級のような形で新たな形をとり、各場面に応じた学習機会の提供を実施してまいりました。

その一方、課題もありまして、令和元年に市民アンケートを実施いたしましたが、こちらの結果によると、市民の生涯学習推進に関する市政への要望の中で、前回の調査と大きく変化していなかった部分がありました。例えば、施設の利便性の向上や広報の充実を一層図ってほしいといった意見は、前回の調査と大きく変わらず、市民の方から多くの御意見をいただきました。

また、社会環境も大きく変化しまして、令和2年度からは教育大綱を策定し、

4 月から進めさせていただいているところでございますけれども、教育大綱の策定や、持続可能都市宣言、SDGs といった考え方も入ってきまして、つくば市の生涯学習を取り巻く環境にも大きな変化がありました。そうした観点から、引き続き新たな計画を策定しまして、新たな時代に対応した生涯学習の実現を図るべきではないかということになりました。

今回の第 3 次つくば市生涯学習推進基本計画は、令和元年の 8 月に市長から生涯学習審議会という会議で、中身について審議いただきたいということで策定に向けて、話が進みました。

概要版 2 ページ目に基本理念を示しています。基本理念は、「つながる 広がる つくばの生涯学習」です。こちらは、生涯学習のさらなる充実という観点から、教育大綱の理念を踏まえ、多様で豊かな個性が花開くよう、自己実現を図る生涯学習に取り組むことができる環境が広がるだけでなく、様々なつながりをもとに、生涯学習の成果を生かして、地域や社会の課題に挑戦することで、地域、そして、つくば市をさらにより良いものにすることができる生涯学習社会を目指すということを端的に示したものです。具体的な内容について簡単に説明させていただきます。基本方針は、2 つあり、1 つが、誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進、2 つ目が、学びの力を生かすことができる生涯学習の推進です。こちら、誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進は、生涯学習にどのような方でもどのような立場の方でも、自分らしく生きるために、生涯学習に取り組むことができる環境づくりを整備していくといった観点から、参加機会の拡充や、施設の利便性の向上を重点的に進めていく内容になっております、2 点目の学びの力を生かすことができる生涯学習の推進ですが、こちらは、今、地域で学びが進んでいる状況をさらに発展させていくといった考え方のもとで設定している考え方です。また、現在、つくば市の教育大綱に盛り込まれております「社会力の育成」こちらをさらに一層推し進めていくために、そういった人材づくり

や、地域の活動サポートなどを行っていく、そういうことを盛り込んでおります。具体的には、3～4 ページに計画のあらまし、全体図が載っておりますので、こちらを御覧いただければと思います。さらに5～6 ページに具体的な事業名を挙げております。特に、今回御紹介する部分では、まず、市民ニーズに応える取組としまして、施設の利便性の向上やアンケートにも多くありました、オンライン講座の実施といった部分を挙げさせていただいております。

現在の諸課題に対する取組とは、障害者を始めとした生涯学習に取り組むことが困難だった方に向けての取組や、社会力を有した人材の育成などを現在の諸課題に対応した取組を進めていく内容となっております。こちらの計画は、令和元年8月から生涯学習審議会で議論を重ねてまいりまして、令和3年の2月末に答申案として決定したものを3月に市長に答申していただき、正式に令和3年3月に策定ということで、市長決裁を終えたという状況でございます。併せまして、1月にはパブリックコメントを実施いたしまして、市民10名から20件の意見をいただきまして、58項目の多岐に渡る項目をいただきました。こちらの内容も踏まえまして、こちらの基本計画が策定されております。生涯学習基本計画を策定することによりまして、市の総合計画にあたります未来構想には、「つながりを力に 未来をつくる」と示されていますが、こちらの基本計画でも、SDGsの基本的な考え方である「誰一人取り残さない社会の実現」、また、教育大綱で示されております「一人一人が幸せな人生を送ることの実現」に向けて、生涯学習推進基本計画も、「つながる 広がる つくばの生涯学習」を実現させていきたいと考えております。このような形で、現在、令和3年度から第3次つくば市生涯学習推進基本計画を進めたいというふうに考えております。社会教育委員の皆様も、引き続き御協力をいただきまして、また、何か意見がありましたら、御意見を賜ればと思っております。

〔議長〕

様式第1号

ありがとうございました。御報告のとおり、生涯学習審議委員会で進めている問題でございますけども、関連があるということで、皆様に御紹介したということだと思います。何か特別御意見や御質問はございますか。どうぞ、委員。

〔委員〕

この生涯学習推進基本計画について、私達、社会教育委員は見ましたということで、これに対しての意見とかは特に言えないと言うことでしょうか。その辺を教えてください。

〔生涯学習推進課係〕

計画の内容そのものは、別の会議で審議したことにはなるのですが、取組みや、そういった具体的な部分で、今後、このような方向にしてほしいという御意見を承りましたら、こちらの方でも検討させていただきまして、今後、実際の実践の中で反映させていくことは可能です。

〔委員〕

社会教育委員会議と生涯学習審議会の位置付けが分かりにくいので、御説明をお願いします。

〔生涯学習推進課係〕

生涯学習審議会は、条例に位置付けされておりました、こちらはつくば市生涯学習審議会条例で定まっております。社会教育委員会議は、社会教育法という法律に位置づいておりました、こちらでも社会教育委員を置くことができるということで、決まっております。社会教育委員会議の開催は、教育委員会の規則として決まっております。細かい違いでいきますと、生涯学習審議会は、公募による市民の方が参加していたり、市長から任命されたりという点があります。社会教育委員会議は、公募により委員の任命はないのですが、教育委員会から任命されるという形式の違いがあります。

〔委員〕

生涯学習推進基本計画の4ページを見ると、教育大綱とか、他の計画と位置付けも掲載されていますが、社会教育委員会自体は、社会教育法のもとに位置付けられていますので、社会教育全般を扱う委員会と認識しているのですが、その上で、この計画は、教育大綱を具体化していく位置付けになっていると思います。社会教育法の意義や目的に基づいて、きちんとできているかどうかをこの社会教育委員会議できちんと確認をして、この計画がそれに基づいてできているのかということ私達が確認していく役割があるのかなと思うのですが。そうなりますと、この資料を今日見せられて、「はい、分かりました」ではなくて、ある程度、審議や議論する場を考えていく必要があるのではないかと思います。教育大綱が掲げている中身や、生涯学習、社会教育の課題について、それぞれの社会教育委員さんが感じていらっしゃることもたくさんあると思いますので、それらを反映させた生涯学習推進基本計画ができていけば、本当に充実したものになると思いますので、そういったあり方も今後、検討をしていくべきではないかと思います。

〔議長〕

よろしいですか。私は、いろいろな役割分担があると思います。一般的な考え方ですが、一堂に会して、みんなでいろんなことを分析しましょうと言うことではなくて、分かりやすく区分をして、委員会なり審議会のいろいろな形を取りながら、検討している訳です。多くの方から意見をまとめましょうということになりますと、一般論なのか、専門的な形で問われるのか、そういうことがはっきりしていないと難しいと思います。審議会の方々が慎重を期して結論を出したものが、社会教育委員会議でおかしいでしょうと言う訳にはいかないですね。そういう意味で、非常に難しい判断かなと私は思いましたが、社会教育委員にも関連する問題なので、もし何かプラス思考の意味で、何か意見がありましたら、後程、出しましょうという形でよろしいでしょうか。

〔生涯学習推進係〕

様式第1号

こちらもお示しするのが、大変遅くなってしまいました。申し訳ないです。

こちらの策定については、2月の答申が3月17日に正式に出されまして、そこからの作業ということになりまして、直前になってのお示しということで、大変失礼いたしました。今後、どのような形でも御意見は承らせていただきまして、充実した計画の実現に向けて図っていきたいと考えております。忌憚のない御意見を次回でも結構ですし、その都度いただければ幸いです。

〔議長〕

今後、御意見がありましたら伺いましょうということで、本来の議事は一通り終わりました。それでは、5のその他に入りたいと思います。

5 その他

〔議長〕

その他について、事務局では何かございますか。社会教育委員の皆さんからは何かございますか。よろしいですか。事務局は、よろしいですか。以上をもちまして、今日議題となりましたものすべて終わりました。御協力ありがとうございました。

6 閉会

〔生涯学習推進課長補佐〕

ありがとうございました。貴重な御意見を令和3年度の事業にも反映していきたいと思っております。では、以上をもちまして、令和2年度の第2回つくば市社会教育委員会議を閉会いたします。長時間に渡り、ありがとうございました。

令和2年度（2020年度）第2回つくば市社会教育委員会議
次 第

日時：令和3年（2021年）3月24日（水）

午後1時30分から

場所：つくば市役所コミュニティ棟1階
会議室1

1 開会

2 委嘱状交付式

3 挨拶

4 議事

（1）令和3年つくば市成人の集いについて

（2）第3次つくば市生涯学習推進基本計画の策定状況について

5 その他

6 閉会

【送付資料】

資料1 令和2年度（2020年度）社会教育事業の実績報告

（別紙1）令和3年つくば市成人の集いの入場券を発送しました。

（別紙2）「令和3年つくば市成人の集い」中止のお知らせ

（別紙3）つくば市特別成人祝金の支給について

資料2 つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料3 つくば市社会教育委員名簿

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	成人の集い開催事業		
予算額	5,043千円	決算額	一千円
事業概要		事業実績	
目的・概要 次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。また、新型コロナウイルス感染症対策を含め、市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 1 主催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会 2 期日 令和3年(2021年)1月10日(日) 午前の部 11:00~11:30(開場 10:30) 午後の部 14:30~15:00(開場 14:00) ※出身中学校ごとに、2回に分けて行う 3 会場 つくばカピオ アリーナ及びホール 4 対象者 平成12年(2000年)4月2日~平成13年(2001年)4月1日生まれの方 5 対象者数 2,720人 6 その他 参加者は事前に郵送している入場券付き案内状を持参してもらう。また、当日式典への参加を見合わせた方等のために、後日、動画を配信する予定でお知らせする。	事業実績 6月25日(木)・新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う分散開催について決める 8月8日(土)・成人の集い実行委員会議を開催し、成人の集いについての運営体制について協議を行う 10月1日(木)・広報つくば10月号に開催について掲載、かつ、市HPにも掲載 ・警備・設営等を含め実施の準備を進める 12月3日(木)・開催についての最終判断決定日【R4.1.4】を決める ・近隣自治体調査 ・実行委員とラインでのやり取り 12月17日(木)・成人の集い入場券付き案内状を送付 ・市HPに式典参加者の皆様への大切なお願いについて追記掲載 (※特に、式典前後の多人数での会食やカラオケ等、感染リスクの高い行動を控えていただくお願い) ・成人の集いの入場券発送お知らせプレスリリース(※別紙1) ・令和3年つくば市成人の集いにおける新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン作成 12月18日(金)・成人の集い交通規制チラシポスティング(開場周辺) 12月19日(土)・実行委員会議開催 12月22日(火)・課内説明会、開催に向けての最終確認準備 1月4日(月)・令和3年つくば市成人の集い中止のお知らせプレスリリース(※別紙2) 1月18日(月)・つくば市特別成人祝金の支給のお知らせプレスリリース 対象者 2,782人(※別紙3)		
今年度の目標 参加者数：1,500人	目標に対する成果 当初の目標は、開催できるものとして参加者数を目標に掲げていた。しかし、過去に例のない、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止にいたり、式典予定の後日に、実行委員長の誓いの言葉、市長から新成人に贈る言葉、アトラクション(グループ彩)、副委員長の司会進行からなる動画の配信を行い、家族等で視聴ができるよう取り組むことができた。また、一生に一度の成人の年を式典の代わりにお祝いするために「特別成人祝金」を支給し新成人の輝かしい前途を祝うことができた。		
事業の課題 新型コロナウイルスの対策として、国、県、近隣市町村の動向を注視し、「新たな生活様式」を参照し、施設のガイドラインに基づいて参加者に対して社会的距離の確保、保健衛生対策の徹底(消毒液の設置やマスク着用、入場時体温・体調チェック等)、共有物の衛生管理・換気の徹底(座席の消毒、会場のドア扉を開け換気等)に取り組む回数を分けるなどして成人の集いを開催する。	課題への対策 令和4年つくば市成人の集いについて、開催に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し計画を立てる。		

つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）12月17日（木曜日）

発信元：つくば市 教育局 生涯学習推進課

取材依頼
 周知依頼
 募集告知
 その他

令和3年つくば市成人の集いの入場券を 発送しました。



成人の集いの開催に伴い、大切なお知らせとお願いがあります。

令和2年（2020年）12月17日（木）に、令和3年つくば市成人の集いの入場券付き案内状を送付しました。成人の集いは、現在のところ予定通り開催します。

実施の最終判断は、令和3年（2021年）1月4日（月）にいたします。

参加される新成人やご家族の方々に安心していただけるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じた上で開催しますので、以下のとおり「大切なお願い」をお知らせします。

- ・開催日 令和3年（2021年）1月10日（日）
- ・場所 つくばカピオ（竹園一丁目10番地1）
- ・時間 午前の部 11:00～（開場 10:30）
午後の部 14:30～（開場 14:00）
出身中学校ごとに、2回に分けて行います。

式典にあたっての大切なお願い

Point 1

三密（密閉・密集・密接）の回避をしっかりと！

Point 2

参加者・主催者の体調管理はしっかりと！
いつでもマスク、手洗いを！
（成人の集い当日までの体調観察と当日朝の検温を必ず）

Point 3

年末年始、友達と会うときはオンラインも上手に活用し、多人数での会食等、感染リスクの高い行動は控えて！

特に成人の集い前後の多人数での会食や カラオケ等は控えるよう、ご協力お願いします

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言（令和2年12月11日）を踏まえ、式典前後の多人数での会食やカラオケ等、感染リスクの高い行動は控えていただくよう、ご協力をよろしく申し上げます。

詳しくは、別紙の成人の集いにおける新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインをご覧ください。

問合せ先

教育局 生涯学習推進課
担当：課長 伊藤 直哉
電話：029-883-1111（内線4541）
Email：edc075@city.tsukuba.lg.jp

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市記者会 御中

発信日：令和3年（2021年）1月4日（月）

発信元：つくば市 教育局 生涯学習推進課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

「令和3年つくば市成人の集い」 中止のお知らせ



令和3年（2021年）1月4日に最終判断をいたしました。

令和3年1月10日（日）につくば市成人の集いの開催を予定していましたが、実行委員会と協議を行い、本日中止を決定いたしました。

首都圏では新型コロナウイルス感染症の感染が拡大して医療体制も逼迫しており、それに伴い国により1都3県を対象とする緊急事態宣言の検討が現在行われています。つくば市内においては皆様のご協力により感染の拡大は何とか踏み止まっていますが、成人の集いを実施する場合、感染が拡大している地域から多くの帰省が想定され、参加者や家族等への感染や医療体制の更なる逼迫につながる恐れがあることから中止の判断となりました。

中止に伴い、成人の集いで予定されていた実行委員長や市長による挨拶等の動画をつくば市ホームページに後日掲載させて頂くことに加え、新成人を式典に代わりお祝いするため、祝い金の支給を現在検討させて頂いております。新成人やご家族の皆様には大変申し訳ありませんがご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

◆開催を予定していた日時や会場

- ・開催日 令和3年（2021年）1月10日（日）
- ・時間 午前の部 11:00～11:30（開場10:30）
午後の部 14:30～15:00（開場14:00）
- ・会場 つくばカピオ（竹園一丁目10番地1）

◆後日（1月12日予定）以下の内容をつくば市ホームページ上で配信する予定です。

- ・配信内容 市長挨拶、実行委員長（午前の部・午後の部）の挨拶等

問合せ先

教育局 生涯学習推進課
担当：課長 伊藤 直哉
電話：029-883-1169（直通）
Email:edc075@city.tsukuba.lg.jp

つくば市記者会 御中

発信日：令和3年（2021年）1月18日（月）

発信元：つくば市 教育局 生涯学習推進課

取材依頼
 周知依頼
 募集告知
 その他

つくば市特別成人祝金の支給について

つくば市は、1月10日に開催を予定していた「大人の集い」を新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としたことから、新成人の皆様を式典に代わりお祝いするため、一人1万円の「つくば市特別成人祝金」を支給します。

本日、当該事業の予算が「令和3年第1回つくば市議会臨時会」において可決されました。

祝金の額	1人につき10,000円（口座振込）
対象者	「平成12年（2000年）4月2日生」から「平成13年（2001年）4月1日生」までの方で、令和2年（2020年）11月1日から令和3年（2021年）1月10日までの間につくば市の住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）の規定に基づく住民基本台帳に記録されている方（約2,800名）
申請書の発送日	令和3年（2021年）1月23日（予定）
申請期限	令和3年（2021年）2月28日（当日消印有効）
申請方法	申請書兼請求書（本人確認書類の写し及び振込先金融機関口座の通帳等の写しを添付）を返信用封筒に入れ担当課へ郵送
市からの発送書類	5種類（特別成人祝金お知らせ、特別成人祝金申請書兼請求書、申請書の手引き、返信用封筒、つくば市大人の集いしおり）
支給時期	申請者への振込は、申請受付後、約2週間程度を予定しています。
担当課	つくば市教育局生涯学習推進課特別成人祝金支給担当 Tel 029-883-1111（内線）4541

問合せ先

教育局 生涯学習推進課
 担当：課長 伊藤直哉
 電話：029-883-1111（内線4500）
 Email：edc075@city.tsukuba.lg.jp

〇つくば市社会教育委員条例

平成2年3月27日
条例第8号

(設置)

第1条 社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条の規定に基づき,社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

(委員の定数)

第2条 委員の定数は,25人以内とする。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は,2年とする。ただし,再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は,前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは,委員の資格を失う。

(委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は,教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は,平成2年4月1日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例(昭和63年つくば市条例第62号)は,廃止する。

〇つくば市社会教育委員会議運営規則

平成2年4月3日
教委規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は,つくば市社会教育委員条例(平成2年つくば市条例第8号)第4条の規定に基づき,社会教育委員(以下「委員」という。)の会議運営に関し,必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議(以下「会議」という。)には,委員の互選による議長及び副議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は,委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は,会議を主宰する。

2 副議長は,議長を補佐し,議長に事故があるとき,又は議長が欠けたときは,その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は,必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は,会議に付議すべき事件とともに議長があらかじめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず,会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたときは,これを会議に付議することができる。

(定足数)

第7条 会議は,在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は,出席委員の過半数で決し,可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は,会議において議事に関する職員(以下「関係職員」という。)に対し,説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は,会議に出席して意見を述べるができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は,公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則(昭和63年つくば市教育委員会規則第5号)は,廃止する。

附 則(平成10年教委規則第9号)

この規則は,公布の日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第15号)

この規則は,平成14年11月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第6号)

この規則は,平成20年4月1日から施行する。

つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和2年8月1日※～令和4年7月31日

区分別

No.	社会教育委員氏名	役職等	区分
1	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
2	和田 雅彦	市学校長会会長	学校教育関係者
3	井坂 孝	並木中等教育学校校長	学校教育関係者
4	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
5	伊藤 達也	市シルバークラブ連合会会長 元公民館運営審議会委員	社会教育関係者
6	石黒 澄子	市スポーツ協会副会長	社会教育関係者
7	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術 部会部会員、認定ガイド	社会教育関係者
8	布浦 万代	市国際交流協会理事長 ボランティア活動家	社会教育関係者
9	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
10	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
11	金井 恵美	市放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動をする者
12	長橋 進也	市PTA連絡協議会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
13	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
14	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
15	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者 ※任期：令和3年2月1日～
16	谷村 安子	元小学校長 元公民館長	学識経験者